

平成 30 年度

事業報告書

自 平成 30 年 4 月 1 日
至 平成 31 年 3 月 31 日

社会福祉法人魚野福社会

社会福祉法人魚野福祉会 事業報告

1. 概況

スタートから20年を迎えようとしている介護保険制度は、要介護人口の増加と当初の予想を上回る生産年齢人口の減少により介護労働力の不足が深刻化し、団塊の世代が全員75歳以上となる2025年には全国で30万人以上もの介護職員が足りなくなると予測されている。

国では、今年10月の消費増税に伴って実施する予定である介護職員の処遇改善や、介護ロボットの活用、外国人人材の受け入れ環境の整備推進などで人材不足を補いたい考えである。

魚沼市においても、総人口が年々減少していく一方で、高齢化率は3割を超え、市民の3人に1人が65歳以上となっており、今後も介護サービスの利用は増加傾向が続くものと見られている。

介護ニーズについては、高齢単身世帯、高齢夫婦世帯が増加しており、居宅での介護に限界を感じている世帯も少なくないことから、通所を含めた施設対応型のサービスの需要が増えており、市の「第7期介護保険事業計画」でも小規模デイサービスや特別養護老人ホームの増設を計画に盛り込んでいる。

特別養護老人ホームうおの園の長期入居待機者は、平成31年3月末で128名（9割以上の方は他の施設にも併せて申し込みをしている。）であり、この数字はここ数年ほぼ横ばいとなっており、全ての入居希望に応えられない状態が今後も続く見通しであるが、前述のとおり、市はこれらのことを考慮して市内に特養50床の増設を計画している。

なお、平成31年3月末現在の入居状況は、定員70名のところ男性8名、女性59名であり、最高齢が105歳、平均年齢90.2歳、平均要介護度4.5となっている。

ケアハウスやまなみは、平成31年3月末現在の入居者最高齢100歳、平均年齢88.2歳、男性7名、女性22名とこちらも女性の割合が高く、日常生活において何らかの支援を必要とする特定入居者は24名で、全体の8割となっており、開設当初から大幅に増えていることから、介護職員の配置体制も見直しが必要な時期がきている。3月末現在の待機者は24名である。

魚沼市養護老人ホーム南山荘は、定員50名で年度末現在49名（男性17名、女性32名）が措置入所している。入所者の平均年齢は83.8歳、前住所地は長岡市（旧川口町）が1名の他は全て魚沼市内である。この他、公益事業として生活管理指導短期宿泊事業（ショートステイ）で定員4人の受け入れを行っている。

平成26年4月から指定管理制度により開始した管理運営は5年を経過し、引き続き平成31年度から5年間継続することが決まっている。

人口減少と少子高齢化による社会環境の変化により、人材の不足、職員の高齢化、介護医療の連携強化、共生社会の実現などの課題対応が求められ、また介護援助を要する方の増加や精神疾患患者の受け入れによる、生活支援レベルの高度化・専門化が求められており、専門性を備えた職員人材の確保と育成が重要となっている。

また、施設の老朽化や入所者の介護状態が進む中、設置者である市による施設更新の検討が進められる。

施設運営にあたっては「優しさと思いやり」を基本理念とし、運営方針として、

- (1) 何が入居者にとって幸せかを考える。
- (2) 地域の福祉に貢献する。
- (3) 経営を無視して理想に走り過ぎないようにする。
- (4) 専門的援助技術の向上を目指し、日々修練に努める。

を掲げて事業を推進し、安全・安心を第一に入居者が充実した日常生活を送ることができるよう支援に努めている。

2. 法人の行う事業

- (1) 第一種社会福祉事業
 - 養護老人ホームの経営
 - ・魚沼市養護老人ホーム南山荘
 - 特別養護老人ホームの経営
 - ・特別養護老人ホームうおの園
 - 軽費老人ホーム（ケアハウス）の経営
 - ・ケアハウスやまなみ
- (2) 第二種社会福祉事業
 - 老人短期入所事業の経営
 - ・特別養護老人ホームうおの園
- (3) 公益事業
 - 生活管理指導短期宿泊事業
 - ・魚沼市養護老人ホーム南山荘

3. 理事会・評議員会開催状況

(1) 理事会

日付	報告・審議事項	
H30. 5. 30	理事長の業務執行状況について	承認
	業務執行理事の業務執行状況について	承認
	平成 29 年度科目間流用及び予備費の充当予算について	承認
	平成 29 年度事業報告について	承認
	平成 29 年度収支決算報告について	承認
	監事監査報告について	承認
	外部会計監査報告について	承認
	再雇用規程の変更について	承認
H30. 10. 22	看取り介護指針の変更について	承認
	第 54 回評議員会の招集の決定について	承認
H31. 1. 31	理事長の業務執行状況について	承認
	業務執行理事の業務執行状況について	承認
	魚沼市養護老人ホーム南山荘の指定管理について	承認
	平成 30 年度補正収支予算（第 1 号）（案）について	承認
	就業規則の変更について	承認
	育児休業・介護休業等に関する規程の変更について	承認

日付	報告・審議事項	
	パートタイマー職員就業規則の変更について	承認
	パートタイマー職員育児休業・介護休業等に関する規程の変更について	承認
	第 55 回評議員会の招集の決定について	承認
H31. 3. 11	平成 31 年度事業計画（案）について	承認
	平成 31 年度当初収支予算（案）について	承認
	事務委任規程の変更について	承認
	組織規程の変更について	承認
	就業規則の変更について	承認
	賃金・退職金規程の変更について	承認
	パートタイマー職員就業規則の変更について	承認
	パートタイマー職員賃金退職金規程の変更について	承認
	第 56 回評議員会の招集の決定について	承認

(2) 評議員会

日付	報告・審議事項	
H30. 6. 25	平成 29 年度科目間流用及び予備費の充当予算について	承認
	平成 29 年度事業報告について	承認
	平成 29 年度決算報告について	承認
H31. 2. 19	魚沼市養護老人ホーム南山荘の指定管理について	承認
	平成 30 年度補正収支予算（第 1 号）（案）について	承認
H31. 3. 29	平成 31 年度事業計画（案）について	承認
	平成 31 年度当初収支予算（案）について	承認

4. 監査・調査等状況

(1) 監査・調査

日付	指導・監査	監査者
H30. 5. 16	定款第 20 条第 1 項の規定に基づく監査	(福) 魚野福社会 監事
H30. 5. 18	実地指導 (うおの園)	新潟県福祉保健部国保・福祉指導課
H30. 11. 15	実地指導 (やまなみ)	新潟県福祉保健部国保・福祉指導課
H30. 12. 4	介護サービス情報の公表制度 (うおの園)	新潟県福祉保健部国保・福祉指導課
H30. 12. 4	介護サービス情報の公表制度 (やまなみ)	新潟県福祉保健部国保・福祉指導課
H30. 12. 21	指導監査 (法人本部)	魚沼市
H30. 12. 21	指導監査 (うおの園)	新潟県福祉保健部国保・福祉指導課

日付	指導・監査	監査者
H30.4.1- H31.3.31	外部会計監査	金子公認会計士事務所

5. 受託事業（介護認定調査件数）

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
魚沼市	6	4	2	7	5	5	5	3	4	6	5	3	55
長岡市	0	1	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	3
県外	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
計	6	5	2	9	5	5	5	3	4	6	5	4	59

6. 入札執行状況

なし

7. 役員及び評議員、職員状況

(1) 役員及び評議員の状況（平成31年3月31日現在）

役職	氏名	備考	役職	氏名	備考
理事長	本田 建一		評議員	桐生 豊美	
業務執行理事	大淵 好文	事務局長	評議員	八木 鉄男	
業務執行理事	角家 一郎	南山荘施設長	評議員	佐藤 隆	
理事	井口 勝士		評議員	関 久一	
理事	山之内 宏		評議員	上村 輝三	
理事	草野 功		評議員	大淵 一郎	
			評議員	酒井ヨシイ	
監事	星 忠嗣				
監事	渡辺 賢一				

(2) 職員入職・退職状況(平成30年4月～平成31年3月)

区分	入職		退職	
	常勤	非常勤	常勤	非常勤
4月	3	0	0	0
5月	0	0	1	0
6月	0	0	0	1
7月	0	0	0	1
8月	0	1	0	1
9月	1	1	0	1
10月	0	0	0	0
11月	0	0	0	0
12月	2	1	1	1
1月	2	1	2	0
2月	0	2	0	0
3月	1	0	4	0
計	9	6	8	5

入職率 13.1% 離職率 11.4%

(=増加(減少)労働者数÷年度当初の全労働者数(114人)×100)

(3) 職員配置状況 (平成 31 年 3 月 31 日現在)

職種	本部		うおの園		やまなみ		南山荘		計	備考
	常勤	非常勤	常勤	非常勤	常勤	非常勤	常勤	非常勤		
事務局長/施設長	1	0	(1)	0	(1)	0	1	0	2	事務局長/うおの園/やまなみ兼務
医師	0	0	0	(1)	0	(1)	0	(2)	0	嘱託医 (内科/精神科)
生活相談員	0	0	3	0	1	0	2	0	6	社会福祉主事 6 名
看護	3	0	4	3	1	0	1	0	12	看護師 9 名 (出向 3 名) 准看護師 3 名
機能訓練指導員	0	0	1	1	1	0	0	0	3	作業療法士 1 名 言語聴覚士 1 名 准看護師 1 名
栄養士	0	0	1	0	1	0	1	0	3	管理栄養士 3 名
介護/支援員	0	0	42	5	4	5	11	3	70	介護福祉士 36 名
介護支援専門員	0	0	(6)	0	(2)	0	0	0	0	(生活相談員 2 名 介護 5 名)
総務	1	0	1	6	0	1	1	0	10	
管理運転/庁務員	0	0	1	1	0	0	1	2	5	
調理	0	0	0	0	0	0	5	1	6	調理師 5 名
計	5	0	53	16	8	6	23	6	117	() 内の数字は兼務または嘱託

男性 44 名 女性 73 名 平均年齢 47.6 歳 平均在職期間 7 年 8 ヶ月

特別養護老人ホームうおの園 事業報告

1. 事業計画執行状況

基本方針、平成 30 年度重点目標及び平成 30 年度個別事業計画に基づき、各部門において計画を進めてきた。

各部門の目標に対する評価及び今後の課題は次のとおりである。

(1) 介護

こぶし

<目標及び評価>

1) 入居者にとっての幸せを考え、安心して、穏やかに過ごしていただけるよう支援する。

⇒不安の訴えにも穏やかに対応しているつもりだったが、「怒られた」と言われる入居者もあった。また、物品が少なくなってくると不安になる入居者に対しては早目に買い物をしたり、買ってくる日時を伝え、安心してもらっていた。

2) 相手を尊重した言葉づかいで接する。

⇒丁寧な言葉がけを心がけて接しているが、人生の先輩である入居者に対して失礼な言葉使いもあったように思う。気が付いたときはお互いに注意するようにしていきたい。

3) 職員間の意思の疎通を図り風通しの良いユニットにする。

⇒いろいろな意見が出せるようになっており、話しやすい環境になってきた。

4) 委員会及び係等の活動を行い、提供しているサービス内容の見直しや改善を行いサービスの質の向上を目指す。

⇒個々が、所属する各委員会や係活動を積極的に行った。口腔ケアについても協力歯科医院の指導の下、質の高いサービス提供を意識して行った。

5) 担当者制を明確にし、責任を持ったサービスを提供する。

⇒居室ごとの担当者がそれぞれの部屋の整理を行い、乱雑だったタンス内などが整頓された。

<次年度以降の課題等>

・31 年度からは一人が 4 人の入居者を受け持つことになるため、忙しい時は主任もフォローに入ることとしたい。

ききょう

<目標及び評価>

1) 入居者が望む生活を理解し、「その人らしい生活」が送れるように支援する。

⇒日々の様子や会話の中から一人ひとりの入居者の思いに寄り添い支援することができた。日頃から入居者が考えを話しやすい関係が築けるようにユニットスタッフが積極的なコミュニケーションを図った。また、コミュニケーションが困難な入居者には、その人らしい生活ができているか評価が難しいが、ユニットスタッフで話し合いながら支援することができた。

2) わかりやすく明確な記録を意識し、積極的な情報収集と他職種との情報共有を図る。

- ⇒入居者の日中の様子や会話の内容などを意識した記録をするようになり、ユニットスタッフ、他職種間で伝わるようになり、情報収集・共有に役立つようになった。
- 3) 入居者、ご家族との信頼関係を築き、安心した生活を送れる環境づくりをする。
- ⇒ご家族面会時には、スタッフから積極的に声をかけることができるようになり、日々の様子を伝えることができた。不安がある入居者に面会などでご家族の協力もあり、心穏やかに過ごしていただける環境作りができた。
- 4) 研修や勉強会で得た知識や技術を活かし、サービスを向上する。
- ⇒ユニットリーダー研修で学んできたユニット炊飯を始めることができ、入居者に喜んでいただけたが、ユニットスタッフに伝達講習がなかなかできていない。

<次年度以降の課題等>

- ・入居者一人ひとりに合わせた支援をユニットスタッフ、他職種で話し合い協力していく。
- ・行事や外出支援をしていく。
- ・土日の過ごし方についてユニットスタッフで検討していく。

ぶ な

<目標及び評価>

- 1) 日々の関わりを大切にし、思いやりのある対応をする。
- ⇒入退居が多くあったが、できる限り入居者の立場になって流れ作業にならないように心がけた。看取り介護では細やかな思いやりの対応ができた。
- 2) 入居者一人ひとりにあった、対応をする。
- ⇒人的に余裕のある時には生活歴に合わせたレクリエーションができた。
- ⇒看取り介護でも一人ひとりに合わせて入居者、ご家族に寄り添って関わられるように職員とご家族と話し合いをして対応した。
- 3) 快適に暮らせるユニットを目指し、環境整備をする。
- ⇒居室、トイレ、ユニット全体や車いすなどの整理・整頓を行ったほか、居室の喚起や汚物を長時間倉庫におかないようにした。また、ユニットにソファを置きゆとりのスペースにし、入居者の足の浮腫みの軽減を図ることができた。
- 4) 状態や様子がわかる記録を残し、情報を共有する。
- ⇒入居者の食事量を月1回プリントアウトし、ご家族と情報の共有を行った。ユニットの中では共通認識を持ち対応するようにはしていたが、その記録内容では十分でなく状態が伝わらないことがあった。
- 5) 他職種との連携を図り適切なケアをする。
- ⇒嘔吐が度々あった入居者も食事量の調整、離床時間、食事姿勢等を他職種と相談し、現在は嘔吐なく過ごすことができている。専門職より意見をもらい入居者にとって最善と思われるケアができた。

<次年度以降の課題等>

- ・記録が十分ではなく状態が伝わらないことがあったため情報の共有をしていく。
- ・内出血等のひやりはつが多かった。再発防止に努める。

- ・気持ちよく過ごしていただくように身だしなみを整える。
- ・日々思いやりを持って対応する。

しゃくなげ

<目標及び評価>

- 1) 温かい雰囲気の中で安心して笑顔のあるユニットを作る。
⇒業務優先になりすぎず気持ちに余裕を持ち関わられるよう心がけてきたが、なかなか上手くいかない場面もあった。
- 2) 必要な知識や技術、マナーを学び身につけ、スキルの向上を図る。
⇒外部研修に積極的に参加し、伝達講習で全体のスキルアップを図った。
⇒日々の関わりの中での一つ一つの動作等でも意見、方法などを話し合い技術等の習得を図った。
- 3) 職員同士が互いに、相談・意見を言い合える環境を作る。
⇒お互いに声をかけ合い、相談や意見を言い合うことができた。
- 4) 他職種との連携を図り、その人にあったケアが出来るようにする。
⇒ユニットスタッフや他職種との伝達や相談等を出来るだけこまめに行い、対応できた。

<次年度以降の課題等>

- ・スタッフのモチベーションを少しでも上げられるように、お互いの意見を話し合い、注意し合える環境を作る。
- ・外出など、入居者と個別の関わりがもう少し増えるように計画していきたい。

八海山

<目標及び評価>

- 1) 思いやりのある言葉があり、日々の関わりを大切に笑顔のあるユニットを作る。
⇒安心できる声かけを意識し、自分で余裕がないと感じるときは深呼吸して落ちくような工夫をするなど、職員各自で努力している様子があったが、毎日の業務の中で頻回にコールが続くときなどは声掛けの口調が厳しくなる場面もあった。
- 2) 入居者やご家族の希望を取り入れ、生活に反映する。
⇒面会時にご家族との会話の機会を多く持ち、職員の顔を覚えてもらうことができた。
⇒入居者から希望や意向の聞き取りが難しく、確認ができない場合はご家族に元気なころの様子などを聞き参考にすることができた。
- 3) 整容、環境整備を行い、入居者が気持ちよく過ごせるようにする。
⇒日々の業務に追われユニットに季節感が足りない感があった。
⇒目ヤニ、寝癖がそのままで行事に参加してしまったことがあったことなど、職員から反省の言葉が多かった。
- 4) 心にゆとりを持って日々関わるようにする。
⇒心にゆとりを持ち、落ち着いて関わることで内出血が減ったり、けがを防ぐことができたと思われる。
⇒入居者への言葉かけや態度も心にゆとりがなければ冷たい対応になることを一人ひとりが自覚して業務を行った。

<次年度以降の課題等>

- ・職員の言葉かけや態度で入居者を不安にさせてしまったり、不快な気分にさせてしまったりすることを職員一人ひとりが再認識する。
- ・適切な介助方法をユニットで話し合い、入居者にけががないよう努力する。

駒ヶ岳

<目標及び評価>

- 1) 優しさと思いやりのあるケアを心がけ、入居者の方に安心して生活してもらえようにする。
⇒コールが重なった時は、転倒の心配がある方への対応が優先になり、意思の疎通がとれる方に待ってもらうことが多かったが、待ってもらったことへのお礼や謝罪の時にコミュニケーションがとれ良い関係も築くことができたが、落ちつかず訴えが頻回な方に冷たい口調になっていることがあった。
- 2) 安全で快適に暮らせる環境づくりに努め、常に整理整頓をする。
⇒自らの動きで内出血ができてしまう方については、パイプカバーなどの保護材を活用し再発防止に努めた。
⇒居室の整理、環境整備などはまだ担当の意識が低いと思われる。
- 3) 職員間、他職種との連携を図り、入居者の方にとって最適なケアが提供できるようにする。
⇒職員間のコミュニケーションがまだ不足していると感じられる。統一したケアを提供できるように話し合いを行うが、独自のやり方を通して職員もおり、さらに連携の大切さを伝える努力が必要である。
- 4) 入居者、ご家族と積極的にコミュニケーションを図り、その人にあった生活を送れるように支援する。
⇒面会時に最近の様子を伝えたり、ご家族の要望を伺ったり、以前よりも積極的にコミュニケーションがとれた。

<次年度以降の課題等>

- ・職員一人ひとりが、自分の考えを持ち、またその考えを他の職員に伝えることで担当意識を高め、責任をもって業務にあたるように努める。

中ノ岳

<目標及び評価>

- 1) 利用者からの苦情を真摯に受け止め、言葉使いや態度を常に意識し、関わりを持つようにする。
⇒業務に追われ関りが少なかったと思われる。利用者からの苦情を会議等で情報共有し、常に意識し関わった。
- 2) 本人、ご家族の意向を尊重する。
⇒可能な限り対応した。できないことに対しても説明を理解してもらえようように努力した。
- 3) 個々のスキルアップに努め、チーム全体としてサービスを向上させる。
⇒各研修に参加し個々のスキルアップにつながったが、チーム全体に伝達するには不十分で工夫が必要と感じた。
- 4) ひやりはつとを共有し、情報として活かす。

⇒ひやりはっとの対応をすぐ事前情報等にも記入し、周知できるよう努めた。
また会議でも検討し共有できたと思われる。

- 5) システム等は分かりやすく、誰が見ても理解できるように記録する。
⇒入力後に確認し入力ミスや文章の修正を行った。

<次年度以降の課題等>

- ・研修内容によっては、ユニット内でも伝達講習があってもよい。
- ・職員のミスによるひやりはっつとを極力減らしたい。
- ・ユニットに季節感のある装飾が欠けている。

(2) 看護

<目標及び評価>

- 1) 入居者や職員の健康管理に努める。
⇒入居者はいつもと違う様子の際には観察を密にし、異常の早期発見に努めた。
職員は体調不良の際には症状を聞き健康相談を行い、咳等の感染症状がある時には休むように声掛けをした。
- 2) 状態変化時は速やかにご家族に連絡し、意向を確認しながら対応する。
⇒入居者の状態変化時は嘱託医に報告し、ご家族に状態報告し意向を聞き速やかに受診等につなげた。
- 3) 多職種と連携し、ニーズに対応する。
⇒入居者の意向、希望に沿えるように多職種で相談し対応した。
- 4) ゆとりを持って笑顔で接し、入居者が笑顔になれるようにする。
⇒入居者の体調変化が多い年となり、看護のゆとりがあまりなかった。
- 5) 研修に積極的に参加し、サービスに活かすようにする。
⇒施設内研修に参加し「感染症対策」や「不適切ケア」等の研修内容を活かして対応した。

<次年度以降の課題等>

- ・言葉を発しない、症状を言えない、また症状変化が分かりにくい入居者が多いため、日ごろの観察を今まで以上に密にして体調不良の早期発見に努める必要がある。
- ・忙しい毎日でも、入居者と対応する時は笑顔で、丁寧な言葉で接するように注意し、心掛けていかなければならない。

(3) 生活相談

<目標及び評価>

- 1) 入居者のご家族の思いを生活支援につなげる。
⇒入居者やご家族の思いをつなげようと日々取り組んだが、全ての思いを生活支援につなげる事は難しかった。
- 2) サービスの向上を目指さず。
⇒サービスの向上を目指し職員へのアドバイスも行ったが、具体的な指導に欠ける部分があった。
- 3) 安定的な稼働率を確保する。
⇒長期入居については入院や退居等相次ぎ、スムーズな入居へとつなげる事ができない時もあり、空床期間が長くなってしまったことがあった。

- ⇒短期入居については他の施設入所やキャンセルが多かったことやキャンセル待ちが週末に集中していたことなどから、平日は埋めることが難しく、安定的な稼働率を確保できなかった。
- 4) 援助技術と意欲向上に取り組み全体のスキルを向上させる。
⇒職員のモチベーションアップはある程度の成果は出せたものの、個々の技術とスキルアップには目に見える結果としてつながらなかったように思う。
- 5) 職種間、事業所内の相互理解を進め、意思の疎通を図る。
⇒職員間の連携がとれていないことや理解不足、確認不足の場面もあり、コミュニケーションが取れていないと感じる時もあった。
- 6) 福祉貢献について、なにができるか考える。
⇒福祉貢献について考える時間的余裕がなかった。

<次年度以降の課題等>

- ・退居後の空床期間を長くしないよう、速やかに新入居の手配を行い、安定的な稼働率を目指す。
- ・入居者やご家族の思いが職員にきちんと伝わるような対応策を考える必要がある。

(4) 介護支援専門員

<目標及び評価>

- 1) 本人やご家族の意向を尊重した施設サービス計画を作成する。
⇒意向を確認できる方からはしっかりと聞き取り、施設サービス計画にも反映できたと思う。また、意向を確認できない方もその人の状態をよく理解したうえで、作成できたと思う。
- 2) 看取り介護も含め、多様なニーズに対応できるよう他職種との連携を保ち、バランスの取れた施設サービス計画を作成する。
⇒多職種と相談しながらその人にとってより良い施設サービス計画が作れるように連携が取れたと思う。
- 3) 職員が施設サービス計画を理解しケアできるよう、また施設サービス計画立案の知識が広がるように指導・助言をする。
⇒勉強会を行い、職員にも理解をしてもらえたと思うが、今後も繰り返し勉強の機会を作り知識を深めてもらえるようにしたい。
- 4) 介護支援専門員資格取得者が増えるようにする。
⇒今年度は1名の合格者があった。今後も資格取得者が増えるような体制を検討していきたい。
- 5) 研修等に参加し、知識を取得する。
⇒看取り介護の研修や更新研修等に参加し、他の事業所の方とも情報交換をしたりして、新しく変わってきている情報や知識を得ることができた。

<次年度以降の課題等>

- ・入居者やご家族の方とのコミュニケーションを大事にし、その人にとってよりよい施設サービス計画を作れるようにしていきたい。

(5) 機能訓練

<目標及び評価>

- 1) 入居者の安全を第一に考えた生活リハビリを提供する。
⇒誘導中のひやりはつとが数件あったが、活動中における事故の発生はなかった。
- 2) 礼節を重んじたコミュニケーションを積極的に行う。
⇒親しみすぎた点があったかもしれないが、入居者とのコミュニケーションに努めた。
- 3) 入居者が心身ともに健康的で楽しく過ごせる機能訓練実施計画を立案し、実施する。
⇒全入居者に日中における活動の機能訓練実施計画書を作成し、評価・実施をした。
- 4) 常に他職種連携を行い、専門性を活かした質の高いサービスを入居者に提供する。
⇒食事姿勢の検討依頼を多く受け、速やかに遂行し、シートを作成して情報共有に努めた。
- 5) 地域社会のニーズや変化に応えながら貢献する。
⇒新規に地域のボランティアと保育園から慰問を受け入れることができた。

<次年度以降の課題等>

- ・機能訓練指導員が一人体制の日は、安全のために2階と3階の活動を分けて実施しており、活動回数が一日一回となるフロアのサービス向上が図れていない。
- ・誘導時にひやりはつとが発生しているが、具体的な対策が講じられていない。

(6) 栄養

<目標及び評価>

- 1) 一日でも長く口から安全に食事が出来るよう、他職種連携をする。
⇒ユニット職員や他職種間で話し合い、その入居者に適した食事形態の提供ができていたと思う。
- 2) 入居者の希望や季節感を取り入れ、家庭的な雰囲気味わえる食事を提供する。
⇒禁止食等も出来る範囲で対応し、要望に沿う食事作りに努めた。
- 3) 栄養状態を反映させた計画を作成し、多職種協働で取り組む。
⇒毎月の担当者会議での意見を参考にして、ケア計画の作成ができていたと思う。

<次年度以降の課題等>

- ・入居者の状態低下によりゼリー食が増加し、作業が大変になってきている。

(7) 総務

総務

<目標及び評価>

- 1) 接客等、基本理念を忘れずに対応する。

- ⇒窓口では笑顔での対応を心がけた。ショートステイのお出迎えも対応していきたい。
- 2) 制度を含めた相互理解を深め業務を進める。
⇒介護保険制度で分からないことがあり、そのため請求に時間がかかってしまうことがあるので、理解を深めて時間短縮に努めたいと思う。
 - 3) システム等を有効に使い、他職種との情報を共有する。
⇒システムに目を通すことで施設内の活動や予定等を把握することが出来た。
 - 4) 入居者やご家族に信頼してもらえるようなコミュニケーションを図る。
⇒相談員より事前に来客予定等を聞くことが出来ていたのので、ご家族への窓口対応や電話のつながりはスムーズにできたと思う。
 - 5) 専門職の研修等へ積極的に参加し、取り組み等を理解し支援する。
⇒自己業務に時間がとられ、なかなか研修に参加することが出来なかった。

<次年度以降の課題等>

- ・利用料金の請求で間違いがないようにする。
- ・仕事の時間配分を考え、時間外業務を減らす。
- ・周りのことに目配り気配りできるよう努める。

管理運転

<目標及び評価>

- 1) 設備を保守点検し、早めに異変に気づくようにする。
⇒定期的に巡回し異変に気付いたときに対応した。
- 2) 災害時の地域相互協力体制を構築する。
⇒地域で行われている災害訓練等に参加し人間関係を作っていく。
- 3) 職種間で相互理解を進め、意思の疎通を図る。
⇒業務内容を理解し上司、同僚間の意思疎通を図ることができた。
- 4) 地域の中でなにか出来るのかを考え、地域のニーズに応えるようにする。
⇒施設周辺で通学路となっている一部の生活関連道路の除雪作業を行った。

<次年度以降の課題等>

- ・施設の保守管理を引き続き行い、設備機器の安全な稼働に配慮していく。

これらの反省点や課題を解消しながら、計画に反映し、サービスの質の向上を目指し事業を推進していく。

2. 施設が管理する事業

種別	指定番号	有効期限	事業開始日
介護老人福祉施設 (特別養護老人ホーム) 定員 70 名	1572300273	H32. 3. 31	H16. 4. 1
(介護予防) 短期入所者生活介護 (老人短期入所事業) 定員 16 名	1572300158	H32. 3. 31	H16. 4. 1

3. 利用状況

(1) 介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）

ア 要介護度別・年齢別・男女別入居者数（H31. 3. 31 現在）

区分		要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	その他	計	
～ 64 歳	男	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	0	0	0	0	0	0	0	
65～ 69 歳	男	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	0	0	0	0	0	0	0	
70～ 79 歳	男	0	0	0	0	0	0	0	1
	女	0	0	0	0	1	0	1	
80～ 89 歳	男	0	0	0	0	5	0	5	30
	女	0	1	4	3	17	0	25	
90～ 99 歳	男	0	0	0	3	0	0	3	33
	女	0	0	3	10	17	0	30	
100～ 歳	男	0	0	0	0	0	0	0	3
	女	0	0	0	2	1	0	3	
計	男	0	0	0	3	5	0	8	67
	女	0	1	7	15	36	0	59	
	計	0	1	7	18	41	0	67	

平均要介護度…男性 4.6/女性 4.4/全体 4.4

平均在園期間…3 年 0 か月 平均年齢…男性 88.5 歳/女性 90.4 歳/全体 90.2 歳

最高年齢…男性 99 歳/女性 105 歳 最低年齢…男性 82 歳/女性 77 歳

待機者数…128 人

イ 障害高齢者の日常生活自立度及び認知症高齢者の日常生活自立度

日常生活自立度	自立	I	Ⅱa	Ⅱb	Ⅲa	Ⅲb	Ⅳ	M	計
J2	0	0	0	0	0	0	1	0	1
A1	0	0	1	0	2	0	0	0	3
A2	1	1	0	1	3	0	1	0	7
B1	0	0	0	0	2	1	2	0	5
B2	0	0	0	1	3	2	18	0	24
C1	1	0	0	1	1	0	6	0	9
C2	0	0	0	1	1	0	15	1	18
計	2	1	1	4	12	3	43	1	67

ウ 要介護度別入居者数

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
要介護度1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護度2	2	2	2	2	2	1	1	1	1	1	1	1	17
要介護度3	9	7	9	9	9	9	9	9	8	8	8	8	102
要介護度4	25	26	24	24	23	23	22	19	22	18	17	18	261
要介護度5	35	34	35	37	36	36	36	38	38	43	43	42	453
計	71	69	70	72	70	69	68	67	69	70	69	69	833

平均要介護度 4.4

エ 要介護度別入居者利用状況（延べ基本報酬算定人数）

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
要介護度1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護度2	60	62	60	62	62	30	31	30	31	31	28	31	518
要介護度3	243	217	256	260	279	270	279	270	248	248	224	242	3,036
要介護度4	740	791	713	716	713	690	633	552	606	529	471	558	7,812
要介護度5	999	1,053	1,024	1,068	1,062	1,022	1,073	1,058	1,152	1,220	1,173	1,233	13,137
計	2,042	2,123	2,053	2,106	2,116	2,012	2,016	1,910	2,037	2,028	1,896	2,064	24,503

稼働率 98.2%

オ 入退居・外泊・入院延べ日数

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
入居数	2	2	0	2	0	1	2	3	2	3	2	2	21
退居数	3	0	0	2	1	0	6	1	3	3	0	5	24
外泊数	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	1	3
入院数	28	34	50	43	55	81	86	140	69	36	23	61	706

入居内訳…在宅6名 老健6名 病院7名 その他2名

カ 月別他科受診・往診状況（定期往診は除く）

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
内科	3	3	4	3	1	2	1	3	3	2	3	2	30
外科	0	0	2	0	0	1	0	1	2	0	0	1	7
泌尿器科	0	0	0	0	0	1	1	0	3	0	0	1	6
整形外科	1	0	0	0	0	3	2	0	0	2	1	2	11
眼科	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	1	0	3
皮膚科	0	2	1	0	1	4	1	2	0	0	2	1	14
歯科	0	0	2	2	0	0	1	1	2	0	0	1	9
その他	0	2	0	2	1	4	2	2	2	1	4	3	23
計	4	7	9	8	3	15	8	9	12	6	11	11	103

キ 入院期間

区分	20日以下	21～40日	41～60日	61～80日	81日以上	計
男性	3	4	1	1	0	9
女性	4	7	2	1	0	14
計	7	11	3	2	0	23

(2) (介護予防) 短期入所生活介護 (老人短期入所事業)

ア 要介護度別利用者数

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
要支援1	1	1	1	1	1	1	1	1	0	0	0	0	8
要支援2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護度1	11	10	8	5	7	10	7	12	10	7	8	8	103
要介護度2	13	14	13	16	16	17	20	21	21	23	21	20	215
要介護度3	13	14	13	17	15	14	16	12	12	11	11	17	165
要介護度4	14	13	16	15	14	14	12	14	14	12	12	16	166
要介護度5	9	13	12	13	11	10	11	9	9	6	5	8	116
計	60	64	62	66	63	65	66	68	66	59	57	69	773
平均要介護度 3.0													

イ 要介護度別利用者延べ数 (空床利用含む)

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
要支援1	2	4	3	3	1	4	3	8	0	0	0	0	28
要支援2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護度1	60	66	65	28	35	51	46	60	58	33	32	42	576
要介護度2	104	91	82	106	94	102	143	136	132	183	126	121	1,420
要介護度3	108	109	97	126	114	97	94	90	89	60	75	117	1,176
要介護度4	125	96	103	90	110	97	80	87	90	109	73	85	1,145
要介護度5	88	127	115	110	84	69	87	66	76	65	40	61	988
計	485	489	462	460	437	416	450	439	445	450	346	426	5,333
稼働率 91.3%													

(3) その他

ア 面会件数

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
老福施設	317	273	296	304	318	260	292	244	303	305	301	339	3,352
短期生活	34	25	42	21	49	18	21	18	21	44	12	19	324
計	351	298	338	325	367	278	313	262	324	349	313	358	3,876

イ ボランティア受入れ数

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
件数	2	2	2	4	3	4	2	2	3	2	2	2	30

ウ 職員出張件数

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
件数	2	5	7	13	7	9	10	13	5	4	3	3	81
参加者	2	6	10	18	10	15	17	17	7	5	4	4	115

エ ひやりはつと件数
介護老人福祉施設

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
転倒	3	4	3	1	1	2	1	0	0	4	2	0	21
転落	6	8	7	0	7	9	3	6	5	5	3	4	63
外傷	4	14	16	14	8	7	14	23	17	24	16	25	182
誤嚥 誤飲	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	2
窒息	1	1	0	0	0	0	1	0	1	0	1	0	5
薬 注射	2	0	3	2	0	1	1	3	0	1	2	4	19
チューブ	3	1	2	0	2	0	0	3	2	2	2	0	17
処置	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	2
異食	3	1	3	0	1	0	1	0	1	1	0	0	11
トラブル	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
センサー	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
紛失 破損	0	0	1	0	0	0	1	0	0	1	1	0	4
記録	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
その他	7	2	3	2	3	4	5	3	3	1	4	4	41
計	29	32	38	19	22	24	27	38	30	41	33	37	370

(介護予防) 短期入所生活介護

内容	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
転倒	1	1	1	2	1	0	1	0	4	0	2	2	15
転落	0	1	0	2	0	2	0	2	1	0	2	0	10
外傷	2	6	2	1	0	2	1	1	3	2	2	1	23
誤嚥 誤飲	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
窒息	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
薬 注射	3	0	3	1	0	0	2	1	1	0	2	1	14
トラブル	0	0	0	0	1	0	1	1	0	0	0	1	4
センサー	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
紛失 破損	0	1	0	2	0	0	2	0	0	0	0	0	5
エレベーター	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	2
記録	0	0	0	0	0	0	0	0	2	3	1	1	7
その他	3	3	3	3	6	1	0	3	1	1	0	1	25
計	9	12	9	12	9	5	7	8	12	8	9	8	108

オ 苦情・意見及び要望受付件数

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
受付件数	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	2
内訳…処遇の内容 2件													

カ 実習生受入数

学校名等	研修者数
小出中学校 (ボランティアスクール)	4名
大和中学校 福祉体験学習	4名

学校名等	研修者数
小出中学校（ボランティアスクール）	4名
北里大学保健衛生専門学院	8名
平成30年度新潟県新採用職員施設体験研修	2名

4. 会議・研修・行事状況
別紙のとおり

5. 施設・設備整備状況

(1) 建物、設備の点検・修理

- ・照明器具交換 4 か所
- ・消防設備不良箇所修理
- ・モーターベッド手元スイッチ購入
- ・GHP-2.3号機インターバル部品交換
- ・GHP-3 室外機更新工事
- ・2階様式便器修繕
- ・アスファルト舗装・補修
- ・屋上消雪配管作業
- ・浴室パネルヒーター交換修理
- ・3階給湯配管詰まり除去作業
- ・GHP修理1階事務所
- ・厨房給水湯配管漏水修繕
- ・厨房水栓配管修繕

(2) 車両関係点検・修理

- ・ホイールローダー修理
- ・ハイエース送迎車両タイヤ購入、組み換え
- ・ラクティスタイヤ交換

(3) 備品の点検・修理

- ・厨房給湯器交換
- ・配膳車キャスター購入

(4) 備品の購入

- ・PHS
- ・食器洗浄機
- ・超音波赤外線コール
- ・車椅子
- ・お風呂場衝立
- ・インクジェットプリンター
- ・草刈り機

ケアハウスやまなみ 事業報告

1. 事業計画執行状況

基本方針、平成 30 年度重点目標及び平成 30 年度個別事業計画に基づき、各部門において計画を進めてきた。

各部門の目標に対する評価及び今後の課題は次のとおりである。

(1) 介護

<目標及び評価>

- 1) 入居者が安全に安心し、毎日笑顔で生活できるように支援する。
⇒入居者が安心できるような声掛けができた。
- 2) 入居者の個々の能力を見極めて、意向を尊重しながら出来ることはしていただけるように支援する。
⇒「できないだろう…」と決めつけてしまうことがあったのではないか。
- 3) 情報を共有し、統一した対応をする。
⇒情報をケース記録や声掛けにて共有していたが、変化していくことに対しての記録が不十分であった。

<次年度以降の課題等>

- ・担当だけでなく、いろいろな職員が関わるようにし、信頼を築いていく。
- ・入居者の何気ない一言を大切に「何ができるか」を考える。
- ・職員間での情報の共有を大切にする。

(2) 看護

<目標及び評価>

- 1) 入居者と職員の健康管理に努める
⇒入居者、職員の健康状態を観察した。感染症の流行はなかった。症状のある方は自室対応にしたり、職員は早目に休めるように対応した。
- 2) 多職種と連携し、個々のニーズに対応する。
⇒多職種間の疑問や話を聞き、入居者に対応した。また、入居者の個別性を確認しながら対応できた。
- 3) 研修に参加し、研修内容を仕事に生かす。
⇒施設内研修に参加した。「窒息時の対応」や「不適切ケア」の研修が活かされた。
- 4) 入居者の加齢に対する不安を軽減できるように寄添う。
⇒声をかけたり、一緒に活動し、話やすい雰囲気を作り、話をゆっくり丁寧に時間をかけて聞くことができた。「聞いてもらえてよかった。すっきりした。」との言葉があった。

<次年度以降の課題等>

- ・入居者及び職員の健康管理に努める。
- ・他職種間と連携、協力し入居者に安心して生活していただけるよう対応する。

(3) 生活相談

<目標及び評価>

- 1) 入居者に寄添い本人の気持ちに配慮し要望に応じた対応をする。
⇒入居者同士の間関係などは対応が難しいが、多職種で協力し対応できた。
- 2) ご家族への報告、連絡、相談を的確に行い信頼関係を構築し、維持する。
⇒加齢していく中で、これから先の意向を確認するなど良好な関係が維持できた。
- 3) 常に向上心を持ち、介護保険の動向を把握する。
⇒あまり積極的に情報収集を行う余裕がなかった。
- 4) 他職種及び他事業所との連携の中で情報を共有する。
⇒情報はシステムに入力することで共有できた。他事業所からの相談には丁寧に対応し、退居者情報の提供もタイムリーにできた。
- 5) 入居希望者の情報を把握し、稼働率の向上に努める。
⇒定期的に入所判定会を行うことで退居から新入居へスムーズに手続きができた。

<次年度以降の課題等>

- ・待機者の待ち年数が3~4年と長く、身体状態等の変化もあり入居の対象として難しくなるケースがあるため、状態によっては他施設への申し込みが可能かなど、施設情報を提供できるようにしたい。
- ・対応時に相手の立場を理解し、相手に誤解がある場合などは寄り添って対応できるよう心がける。

(4) 機能訓練

<目標及び評価>

- 1) 暮らしの中で、入居者にとって、楽しみ、幸せと感じていただけるように支援する。
⇒10時、15時の機能訓練活動では入居者の体調に合わせ、日々メニューに変化を持たせたつもりだが、計画と実行ではずれもあった。それでも「楽しかったよ」と入居者から評価をいただくこともあった。
- 2) 個々にあった支援を見つけ、基本理念を重視した活動を計画する。
⇒総合的に全員がバランスよくできていたわけではなく、計画が少し不足であったと思うことが反省点としてあげられる。
- 3) 地域の方やボランティアの方との連携をとりながら、外部からの支援を頂けるよう、交流の場を計画し、実践する。
⇒やまなみ喫茶では、傾聴ボランティアの方々の協力で毎月交流でき感謝している。
⇒他のボランティアの方々も継続して来園していただき、刺激をもらいながら倶楽部活動もできた。
- 4) 日々入居者との関わりの中で、多職種と協力し、共通した認識の下で適切な対応ができるよう努力する。
⇒機能訓練活動も他の職種から協力いただいてレクリエーションやお茶会を行うことができた。
- 5) 専門職として知識の向上に努め、入居者個々の様子を日々観察し、互いの信頼関係を築き、安全面にも配慮したサービスを提供する。

⇒自分のスキルアップが努力不足で進まないことが多いが、入居者は人生の先輩として認識し、対応するよう努めている。
 ⇒安全面にはきちんと配慮ができた。

<次年度以降の課題等>

- ・自分に何が不足しているのかを自覚し、前向きな気持ちで責任もって取り組んでいく。
- ・個々の対応を意識して、日々の中で関わりを持っていく。

(5) 栄養

<目標及び評価>

- 1) 健康維持につながる食事作りを行う。
 ⇒健康維持につながっているのかの具体的な指標としては、個人の体重などで確認し、大きく減少がみられることもなく過ごしていた方が多く、集団で体調を崩すことなく1年間過ごすことが出来た。
 ⇒個人的にはお粥しか食べられないという方が赤飯、混ぜご飯、寿司等形のある主食を食べることが出来るようになった。
- 2) 食を通しての入居者のご家族や地域住民との関わりを保てるようにする。
 ⇒ご家族には6月の野外食、7月の赤ちょうちん、12月の忘年会と食事へのご招待をしている。また地域住民との関わりとしては、防災食訓練(10月)を町内の回覧にてお知らせし、参加を促している。
- 3) 食の意欲向上のため、やまなみの畑を題材とした栄養情報を伝達する。
 ⇒食堂内にある掲示板に畑の作物状況を写真にて掲示したり、食材の栄養情報を提示したりしている。

<次年度以降の課題等>

- ・食事からの健康づくりとして、やまなみの生活の中でおいしく食事を食べ、体を動かし、上手に休んで、趣味などに夢中になって充実した毎日を入居者が送れるように関わっていく工夫をしたいと思う。

これらの反省点や課題を解消しながら、計画に反映し、サービスの質の向上を目指し事業を推進していく。

2. 施設が管理する事業

種別		指定番号	有効期限	事業開始日
軽費老人ホーム (ケアハウス)	定員 30 名	—	—	H20. 4. 1
(介護予防) 特定入居者生活介護		1572300612	H32. 3. 31	H20. 4. 1

3. 利用状況

ア 要介護度別・年齢別・男女別入居者数 (H31. 3. 31 現在)

区分		要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	一般	計	
～64歳	男	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	0	0	0	0	0	0	0	
65～69歳	男	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	0	0	0	0	0	0	0	
70～79歳	男	0	0	1	0	0	0	1	2
	女	1	0	0	0	0	0	1	
80～89歳	男	0	0	2	1	0	1	4	15
	女	2	2	3	0	0	4	11	
90～99歳	男	2	0	0	0	0	0	2	11
	女	0	2	4	3	0	0	9	
100歳～	男	0	0	0	0	0	0	0	1
	女	0	0	0	1	0	0	1	
計	男	2	0	3	1	0	1	7	29
	女	3	4	7	4	0	4	22	
	計	5	4	10	5	0	5	29	

要支援…9名 要介護者…15名 一般…5名
 平均要介護度…男性 1.2/女性 1.3/全体 1.3
 平均在園期間…4年6ヶ月 平均年齢…男性 85.4歳/女性 88.9歳/全体 88.1歳
 最高年齢…男性 92歳/女性 100歳 最低年齢…男性 78歳/女性 79歳
 待機者数…36名

イ 入居者利用状況

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
特定入居	23	23	23	22	24	25	25	26	24	24	24	25	288
一般入居	7	7	7	8	6	5	5	5	6	6	6	5	73
計	30	30	30	30	30	30	30	31	30	30	30	30	361

ウ 入居者利用日数（外泊・入院含む）

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
特定入居	690	713	690	682	712	724	744	726	744	730	671	760	8,586
一般入居	210	217	210	229	218	176	155	150	186	186	168	170	2,275
計	900	930	900	911	930	900	899	876	930	916	839	930	10,861

稼働率 99.3%

エ 要介護度別入居者数（基本報酬算定人数）

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
要支援1	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	5	5	70
要支援2	4	4	4	4	5	6	6	6	4	4	4	5	56
要介護度1	9	9	9	9	9	9	9	9	8	8	9	9	106
要介護度2	2	2	2	2	3	3	3	4	5	5	6	6	43
要介護度3	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	0	0	11
要介護度4	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
計	23	23	23	22	24	25	25	26	24	24	24	25	288

平均要介護度 1.04

オ 要介護度別入居者延べ数（基本報酬算定人数）

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
要支援1	170	182	178	186	177	180	168	161	183	169	124	149	2,027
要支援2	112	124	120	124	130	140	171	166	124	124	112	140	1,587
要介護度1	242	261	259	279	258	270	279	241	248	246	251	307	3,141
要介護度2	60	62	60	62	78	83	93	91	137	154	147	155	1,182
要介護度3	60	31	30	31	31	30	31	30	31	17	0	0	322
要介護度4	0	31	25	0	0	0	0	0	0	0	0	0	56
計	644	691	672	682	674	703	742	689	723	710	634	751	8,315

カ 入退居

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
特定入居数	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	3
一般入居数	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
特定退居数	0	0	1	0	0	0	0	1	0	1	0	1	4
一般退居数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
入居内訳…在宅2名 地域密着型特定施設1名 高齢者支援ハウス1名 退居内訳…老人保健施設1名 グループホーム1名 介護付き有料老人ホーム1名 サービス付き高齢者住宅1名													

キ 面会件数

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
面会数	109	121	120	106	107	101	111	102	115	75	78	120	1,265

ク ひやりはっと件数

内容	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
転倒	2	2	5	2	4	2	0	2	1	3	5	4	32
外傷	0	1	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	3
薬	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
入居者間 トラブル	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2
その他	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	2
計	2	4	5	2	4	2	1	3	2	4	6	5	40

ケ 出張件数

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
件数	0	1	0	4	2	1	1	3	0	0	0	0	12
参加者	0	1	0	4	2	1	2	4	0	0	0	0	14

コ 苦情・意見及び要望受付件数
なし

4. 会議・研修・行事状況
別紙のとおり

5. 施設・設備整備状況

(1) 建物の設備の点検、修繕

- ・防災設備点検
- ・衛生空調設備点検
- ・警報システム点検
- ・電気設備点検
- ・エレベーター点検
- ・浴室水質検査
- ・昇降機部品代
- ・2階居室系統GHP部品交換修理
- ・入口柱補修工事
- ・水道蛇口シングルレバー混合栓取替
- ・2階キッチン電気温水器交換
- ・水栓交換作業
- ・GHP部品交換修理

別紙

1. 避難訓練

日時	内容
H30. 8. 30	(昼間想定) 消防署への通報訓練 避難誘導訓練 消火器使用訓練
H31. 3. 27	(夜間想定) 消防署への通報訓練 避難誘導訓練 消火器使用訓練

2. 調査報告

特別養護老人ホームうおの園

報告日	報告件名	提出先
H30. 7. 4	特別養護老人ホーム等における配置医師に係る情報提供について	新潟県福祉保健部国保・福祉指導課長
H30. 7. 5	平成 30 年度看護職員需要施設実態調査	公益社団法人新潟県看護協会
H30. 7. 26	公益法人等の損益計算書等の提出	小千谷 税務署長
H30. 8. 3	平成 29 年度決算に基づく特別養護老人ホーム収支状況調査	新潟県老人福祉施設協議会
H30. 8. 13	会計監査及び専門家による支援等に関する調査	厚生労働省社会・援護局福祉基盤課
H30. 8. 16	公正採用選考人権啓発推進員の選任（変更）確認について	南魚沼公共職業安定所所長
H30. 10. 3	高齢者福祉施設等の耐震対策及び安全点検状況のフォローアップ調査について	新潟県福祉保健部高齢福祉保健課長
H30. 10. 5	介護老人福祉施設における教育・研修内容が介護職員の離職率に与える影響に関する調査	浦和大学
H30. 11. 15	社会福祉法人の会計監査に関するアンケート調査(第1次)の実施について	魚沼市長 佐藤雅一
H31. 1. 4	医療保健関係資格者の届出票の提出	新潟県魚沼地域振興局健康福祉部長
H31. 1. 25	退院支援・連携に関するアンケート調査	魚沼市立小出病院
H31. 1. 30	新潟県医療・薬局機能情報の定期報告について	新潟県福祉保健部医務薬事課長

報告日	報告件名	提出先
H31. 1. 31	常用雇用労働者の総数に関する照会	独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構
H31. 2. 2	中高生を対象とした職場体験等学習の受入調査について	南魚沼公共職業安定所 所長
H31. 2. 10	平成 30 年度「消費税の転嫁状況に関する調査」	経済産業省 中小企業庁
H31. 3. 27	2018 年度保健師助産師看護師法施行令第 14 条報告の為の調査	北里保健衛生専門学院

ケアハウスやまなみ

報告日	報告件名	提出先
H30. 7. 10	軽費老人ホームの居住に要する費用について	新潟県老人福祉施設協議会
H30. 10. 3	高齢者福祉施設等の耐震対策及び安全点検状況のフォローアップ調査	新潟県福祉保健部高齢福祉保健課長
H30. 10. 15	社会福祉施設等調査及び介護サービス施設・事業所調査	厚生労働省
H31. 1. 21	退院支援・連携に関するアンケート	魚沼市医療公社
H31. 2. 10	新潟県軽費老人ホーム補助金に係る契約調査	新潟県福祉保健部高齢福祉保健課施設福祉係長

3. 研修会一覧

(1) 出張研修

特別養護老人ホームうおの園

出張日	件名	参加数
H30. 4. 12	平成 30 年度認定調査従事予定者の新規研修	1
H30. 4. 20	社会福祉法人制度改革事務担当者フォローアップセミナー	1
H30. 5. 8	人材育成・定着セミナー	1
H30. 5. 16	実務者研修 通信課程 1 回目	1
H30. 5. 22	平成 31 年 3 月新規高等学校卒業予定者対象求人申込説明会	1

出張日	件名	参加数
H30. 5. 25	小千谷市魚沼市介護支援専門員連絡協議会 定期総会・研修会	2
H30. 5. 30	2018 年度 福祉関係者のための成年後見活用講座 入門 編	1
H30. 6. 1	食中毒防止安全衛生大会	1
H30. 6. 20	平成 30 年度新潟県看護協会通常集会	1
H30. 6. 13～ 15	平成 30 年度ユニットリーダー研修	1
H30. 6. 16	第 4 回魚沼地域摂食嚥下診療研究会	1
H30. 6. 25～ 26	平成 30 年度介護福祉士養成実習施設 実習指導者特別研修会	2
H30. 6. 27	ほんだ病院認知症疾患センター連絡会議	3
H30. 6. 27	実務者研修 通信課程 2 回目	1
H30. 7. 2～3	新潟県介護支援専門員「専門研修過程 I」	2
H30. 7. 4	平成 30 年度感染症予防リーダー養成研修会	2
H30. 7. 6	平成 30 年度第 1 回小出病院地域連絡会	1
H30. 7. 6	平成 30 年度施設介護支援専門員研修会	2
H30. 7. 9	ボランティアスクール開校式	2
H30. 7. 9～ 10	平成 30 年度介護福祉士養成実習施設 実習指導者特別研修会	2
H30. 7. 10	高齢者虐待の早期発見と防止 ～不適切なケアの発見～	1
H30. 7. 17～ 20	ユニットリーダー研修実地研修	1
H30. 7. 19～ 20	新潟県介護支援専門員「専門研修過程 I」	1
H30. 7. 19	ホクギン介護・福祉経営セミナー	1
H30. 7. 25	実務者研修 通信課程 3 回目	1
H30. 7. 26	小千谷市魚沼市介護支援専門員連絡協議会 新人研修	1

出張日	件名	参加数
H30. 7. 28	実務者研修 通信課程 4 回目	1
H30. 8. 10	小千谷市魚沼市介護支援専門員連絡協議会 新人研修	1
H30. 8. 21～ 27	ケアマネ更新研修	1
H30. 8. 21～ 28	新潟県介護支援専門員「専門研修過程 I」	1
H30. 8. 24	平成 30 年度魚沼圏域口腔ケア研修会	3
H30. 8. 28	気づく力研修	2
H30. 8. 28	にいがたセーフティネット事業の実施に係る 事務担当者説明会	1
H30. 8. 29	実務者研修 通信課程 5 回目	1
H30. 9. 4	傾聴座談会	1
H30. 9. 5～ 26	介護職員実務者研修 1 回目～4 回目	1
H30. 9. 7	施設介護専門員研修会	2
H30. 9. 11	認知症ケア・対応研修	1
H30. 9. 14	ストレスマネジメント研修	2
H30. 9. 22	福祉のしごと就職フェア in 三条	2
H30. 9. 25～ 26	平成 30 年度介護福祉士養成実習施設 実習指導者特別研修会	2
H30. 9. 26～27	第 23 回新潟県老人福祉施設研究大会	3
H30. 9. 26	実務者研修 通信課程 6 回目	1
H30. 10. 1	平成 30 年度感染症予防リーダー養成研修会	2
H30. 10. 1	うおぬま・米ねっと介護・看護事業所様説明会	1
H30. 10. 2	認知症ケア対応研修	2
H30. 10. 3	介護職員実務者研修 5 回目	1

出張日	件名	参加数
H30. 10. 5	第3ブロック部会平成30年度研修会 事例発表会	2
H30. 10. 9～ 10	平成30年度介護福祉士養成実習施設 実習指導者特別研修会	2
H30. 10. 11	第45回国際福祉機器展	3
H30. 10. 22	新潟県ユニットケア研修2018	2
H30. 10. 30	平成30年度社会福祉法人十日町福祉会喀痰吸引等研修1 回目	1
H30. 11. 1～ 22	平成30年度社会福祉法人十日町福祉会喀痰吸引等研修2 回目～8回目	1
H30. 11. 6	介護職面接会	1
H30. 11. 7	実務者研修 通信課程7回目	1
H30. 11. 9	小千谷市魚沼市介護支援専門員連絡協議会 平成30年秋季研修会	1
H30. 11. 10	実務者研修 通信課程8回目	1
H30. 11. 10	第5回魚沼地域摂食嚥下診療研究会	1
H30. 11. 13	平成30年度魚沼地域高齢者施設虐待防止研修会(第2回)	2
H30. 11. 28	平成30年度感染症予防リーダー養成研修会	2
H30. 11. 18	新潟県言語聴覚士会 第4回研修会	1
H30. 11. 22	給与ソフト操作説明会	1
H30. 11. 26	新潟県の医療・福祉・介護を考えるシンポジウム	1
H30. 11. 26～ 27	平成30年度関東ブロックカンントリーミーティング 介 護・福祉が未来を拓く	3
H30. 11. 29	新潟インターンシップ事業活用セミナー	1
H30. 12. 1	実務者研修 通信課程9回目	1
H30. 12. 3	障害者雇用関係機関連絡会議	1
H30. 12. 10	モチベーションアップ研修	2

出張日	件名	参加数
H30. 12. 13	看取りケア研修	2
H30. 12. 20	介護老人福祉施設等集団指導	1
H31. 1. 15～ 23	新潟県介護支援専門員実務研修 地域研修 前期	1
H31. 1. 18	機能訓練担当職員研修会	1
H31. 1. 24	平成 30 年度感染症予防リーダー養成研修会	2
H31. 1. 26	新潟県介護支援専門員実務研修 実習	1
H31. 2. 8～ 13	新潟県介護支援専門員実務研修 実習	1
H31. 2. 21	第 4 ブロック部会平成 30 年度研修会	2
H31. 2. 27	傾聴ボランティア座談会	1
H31. 3. 4	全国個室ユニット型施設推進協議会 新潟支部 平成 30 年度研修会	2
H31. 3. 4	新潟県経営協セミナー（後期）	1
H31. 3. 5～ 20	新潟県介護支援専門員実務研修 地域研修 後期	1

ケアハウスやまなみ

出張日	件名	参加数
H30. 5. 25	小千谷市魚沼市介護支援専門員連絡協議会定期総会・研修 会	1
H30. 7. 10	平成 30 年度魚沼地域高齢者施設虐待防止研修 第 1 回	1
H30. 7. 19～ 20	介護支援専門員更新研修 講義・演習	1
H30. 7. 24～ 25	福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程（中堅職員コース）	1
H30. 7. 30	学校及び社会福祉施設の行事に伴う食品提供に係る食品衛 生講習会	1
H30. 8. 21～ 28	介護支援専門員更新研修・専門研修	1
H30. 8. 28	平成 30 年度気づく力研修 人が育つ・職場が変わる気づく力	1

出張日	件名	参加数
H30. 9. 26 ~ 27	第 23 回新潟県老人福祉施設研究大会	1
H30. 10. 5	第 3 ブロック部会平成 30 年度研修会 事例発表会 <伝えたい！！私たちのチャレンジ 2018>	2
H30. 11. 7 ~ 21	平成 30 年度新潟県介護支援専門員「更新研修」 (専門研修課程Ⅱ)	1
H30. 11. 9	小千谷市魚沼市介護支援専門員連絡協議会 平成 30 年度 秋期全体研修会	1
H30. 11. 13	平成 30 年度魚沼地域高齢者施設虐待防止研修会 (第 2 回)	2

4. 年間会議/委員会等実施報告書

(1) 会議/委員会実施状況

区分	うおの園・やまなみ		うおの園		やまなみ	
	日	会議/委員会	日	会議/委員会	日	会議/委員会
4月	6	安全対策委員会	11	褥瘡対策委員会	16	カンファレンス
	6	吸引等安全対策委員会	18	業務連携会議	20	業務連携会議
	13	ケアプラン委員会	18	安全衛生委員会	20	入所検討委員会
	9	虐待防止委員会			23	運営懇談会
				25	カンファレンス	
5月	9	感染対策委員会	16	業務連携会議	18	業務連携会議
	10	安全対策委員会	16	安全衛生委員会	28	運営懇談会
	11	ケアプラン委員会			29	カンファレンス
				31	カンファレンス	
6月	1	安全対策委員会	13	褥瘡対策委員会	22	業務連携会議
	1	吸引等安全対策委員会	26	入所検討委員会	22	栄養会議
	8	ケアプラン委員会	20	業務連携会議	25	運営懇談会
	11	虐待防止委員会	20	安全衛生委員会	25	カンファレンス
			20	栄養会議	29	カンファレンス
7月	4	秋祭り実行委員会	18	業務連携会議	13	業務連携会議
	6	安全対策委員会	18	安全衛生委員会	13	入所検討委員会
	13	ケアプラン委員会			27	カンファレンス
	11	感染対策委員会			30	運営懇談会
				30	カンファレンス	
8月	1	秋祭り実行委員会	8	褥瘡対策委員会	20	カンファレンス
	3	安全対策委員会	22	業務連携会議	24	業務連携会議
	10	ケアプラン委員会	22	安全衛生委員会	24	カンファレンス
	6	虐待防止委員会			27	運営懇談会
	29	秋祭り実行委員会			31	カンファレンス

区分	うおの園・やまなみ		うおの園		やまなみ	
	日	会議/委員会	日	会議/委員会	日	会議/委員会
9月	7	安全対策委員会	19	業務連携会議	19	カンファレンス
	5	秋祭り実行委員会	19	安全衛生委員会	21	カンファレンス
	14	ケアプラン委員会	19	栄養会議	21	業務連携会議
	12	感染対策委員会	25	入所検討委員会	21	栄養会議
	26	秋祭り実行委員会			25	運営懇談会
				28	カンファレンス	
10月	5	安全対策委員会	10	褥瘡対策委員会	24	カンファレンス
	5	吸引等安全対策委員会	17	業務連携会議	26	カンファレンス
	15	虐待防止委員会	17	安全衛生委員会	26	業務連携会議
	12	ケアプラン委員会			26	入所検討委員会
				29	カンファレンス	
				29	運営懇談会	
11月	2	安全対策委員会	21	業務連携会議	19	カンファレンス
	14	感染対策委員会	21	安全衛生会議	26	業務連携会議
	16	ケアプラン委員会			26	カンファレンス
				26	運営懇談会	
				27	カンファレンス	
12月	7	安全対策委員会	19	業務連携会議	17	カンファレンス
	7	吸引等安全対策委員会	19	安全衛生委員会	20	カンファレンス
	14	ケアプラン委員会	19	栄養会議	21	カンファレンス
	10	虐待防止委員会	20	褥瘡対策委員会	21	栄養会議
			18	入所検討委員会	25	運営懇談会
				26	業務連携会議	
1月	4	安全対策委員会	16	業務連携会議	18	入所検討委員会
	9	感染対策委員会	16	安全衛生委員会	18	カンファレンス
	11	ケアプラン委員会			21	カンファレンス
				25	業務連携会議	

区分	うおの園・やまなみ		うおの園		やまなみ	
	日	会議/委員会	日	会議/委員会	日	会議/委員会
					28	カンファレンス
					28	運営懇談会
2月	1	安全対策委員会	13	褥瘡対策委員会	19	カンファレンス
	8	ケアプラン委員会	20	業務連携会議	22	業務連携会議
	18	虐待防止委員会	20	安全衛生委員会	25	カンファレンス
				25	運営懇談会	
				26	カンファレンス	
3月	1	安全対策委員会	26	入所検討委員会	22	業務連携会議
	8	ケアプラン委員会	20	業務連携会議	22	栄養会議
	13	感染対策委員会	20	安全衛生委員会	25	カンファレンス
			20	栄養会議	25	運営懇談会
				29	カンファレンス	

(2) 特別養護老人ホームうおの園係内会議

区分	係内会議		2階ユニット会議 モニタリング		3階ユニット会議 モニタリング		リーダー会議	
	日	係名	日	ユニット名	日	ユニット名	日	会議名
4月	9	入浴係	26	ききょう こぶし	25	八海山 駒ヶ岳	18	主任・リーダー会議
	24	排泄係	26	ぶな しゃくなげ	26	中ノ岳		
	27	口腔ケア係						
5月	1	移動係	24	ききょう こぶし	29	中ノ岳	16	主任・リーダー会議
	19	口腔ケア係	29	ぶな しゃくなげ	29	八海山 駒ヶ岳		
6月	2	口腔ケア係	26	ききょう こぶし	23	八海山 駒ヶ岳	20	主任・リーダー会議
	12	入浴係			26	中ノ岳		
	15	移動係						
	28	移動係						
7月	10	移動係	24	ぶな しゃくなげ	23	八海山 駒ヶ岳	18	主任・リーダー会議
	11	口腔ケア係	31	ききょう こぶし	26	中ノ岳		
8月	10	移動係	25	ぶな しゃくなげ	30	八海山 駒ヶ岳	22	主任・リーダー会議
	14	入浴係	31	ききょう こぶし	30	中ノ岳		
9月	3	移動係	25	ききょう こぶし	26	八海山 駒ヶ岳	19	主任・リーダー会議
	7	排泄係	28	ぶな しゃくなげ	28	中ノ岳		
10月	9	入浴係	23	ききょう こぶし	27	八海山 駒ヶ岳	17	主任・リーダー会議
			27	ぶな しゃくなげ	31	中ノ岳		
11月			22	ぶな しゃくなげ	22	八海山 駒ヶ岳	21	主任・リーダー会議
			30	ききょう こぶし	29	中ノ岳		
12月	11	入浴係	21	ぶな しゃくなげ	26	中ノ岳	19	主任・リーダー会議
	27	口腔ケア係	25	ききょう こぶし	28	八海山 駒ヶ岳		
1月	7	移動係	25	ききょう こぶし	25	八海山 駒ヶ岳	16	主任・リーダー会議
	8	入浴係	29	ぶな しゃくなげ	30	中ノ岳		
	10	排泄係						

区分	係内会議		2階ユニット会議 モニタリング		3階ユニット会議 モニタリング		リーダー会議	
	日	係名	日	ユニット名	日	ユニット名	日	会議名
2月	14	口腔ケア係	27	ぶな しゃくなげ	28	八海山 駒ヶ岳	20	主任・リーダー会議
			28	ききょう こぶし	28	中ノ岳		
3月	4	移動係	29	ききょう こぶし	26	中ノ岳	20	主任・リーダー会議
	11	排泄係			29	八海山 駒ヶ岳		
	12	入浴係						

(2) 施設内研修 (うおの園、やまなみ合同)

区分	日	内容	担当委員会等	参加数
4月	2	新人研修	業務課長 業務課長補佐 総務係長 相談員主任	3
5月	25 28 30	① 嚥下の仕組みについて ② 窒息時の初期対応についての実践	安全対策委員会	57
6月	8	排泄係新人研修会	王子ネピア(株) カウンセラー宮澤様	7
	21 22 25	食中毒の予防と手洗いの実践	感染対策委員会	55
	21 22 25	褥瘡加算について	褥瘡対策委員会	55
7月	11	口腔ケアの大切さ	口腔ケア係 藤本歯科医院	26
	25 27 30	ケアプランの作り方と役割について	ケアプラン委員会	48
	25 27 30	移乗方法について	移乗係	48
8月	20 23 24	虐待防止研修会	虐待防止委員会	51
	29	虐待防止研修会 認知症について	虐待防止委員会	28
9月	3	新人研修	業務課長 総務係長 相談員主任	1
	20 21 27	施設における感染予防策 伝達講習	感染対策委員会	48
10月	24 26 29	感染予防策と感染性胃腸炎について	感染対策委員会	48
11月	28	看取り研修会「医師の考える看取りについて」	ケアプラン委員会 ほんだ病院 鈴木邦人先生	25 家族 11
12月	7	救急法・AED研修	安全対策委員会 魚沼市消防署	24

区分	日	内容	担当委員会等	参加数
	18 20	身体にかかる圧の影響と対策	褥瘡対策委員会 モルテン 関口玲平様	35
1月	16	新人研修	業務課長 業務課長補佐 総務係長	1
	21 23 24	①虐待防止研修会 ②身体拘束研修会	虐待防止委員会	44
	28 31	30年度 各係発表会	各係の担当者	27
2月	7 14 22	喀痰吸引手技研修会	吸引安全対策委員会	40
	15 21 25	ユニットケア研修	各ユニットリーダー	43
3月	7	新人研修	業務課長補佐 総務係長	1
	7 14 28	窒息時における緊急対応演習	安全対策委員会	40
	18 22 25	活動報告会	施設の代表・ユニットスタッフ	49

5. 年間行事等実施計画書

(1) 特別養護老人ホームうおの園全体行事

区分	日	行事	日	行事食
4月	9	まんさくの会	6	握り寿司
	13	守門民謡保存会		
5月	11	守門民謡保存会	2	子どもの日のお祝いメニュー
	23	堀之内民謡保存会		
6月	8	守門民謡保存会	21	選択食
	18	こでまり会（お楽しみ会）		
7月	6	つくし保育園 七夕会	6	七夕メニュー
	19	小千谷ロータリー混声合唱クラブ		
	23	守門民謡保存会	25	土用丑の日
	31	伊米ヶ崎保育園（お遊戯）		
8月	10	守門民謡保存会	13	お盆料理
	21	ヴィーナス・アロハ		
	22	夢ひかりミュージカル		

区分	日	行事	日	行事食
9月	8	うおの園・やまなみ秋祭り	13	敬老の日お祝いメニュー お彼岸 おはぎ
	13	ひがし保育園 (敬老会)	21	
	20	葉月みなみ歌謡ショー (津山商店提供)		
	26	守門民謡保存会		
10月	15	伊米ヶ崎小学校 (運動会)	15	運動会お弁当メニュー
	29	守門民謡保存会		
11月	14	守門民謡保存会	22	おでんパーティー
	26	めぐみ幼稚園 (お遊戯)		
12月	3	佐梨保育園 (クリスマス会)	25	クリスマス 年末料理
	25	うおの園・クリスマスプレゼント	31	
	26	守門民謡保存会		
1月	9	守門民謡保存会	1 2	正月料理
	15	小正月「獅子舞」		
2月	1	節分豆まき	14	おしるこ
	15	守門民謡保存会		
3月	1	清心保育園 (ひな祭り会)	1	ひなまつりメニュー お彼岸料理
	18	守門民謡保存会	18	

(2) 特別養護老人ホームうおの園ユニット行事

区分	こぶし		ぶな		しゃくなげ		ききょう		八海山・駒ヶ岳		中ノ岳	
	日	内容	日	内容	日	内容	日	内容	日	内容	日	内容
4月	17	茶話会	5	ドライブ	27	誕生会	17	茶話会	22	誕生会	5	ドライブ
	27	誕生会					27	誕生会			27	花見
5月	27	誕生会			18	バスハイク	27	誕生会	20	誕生会	26	デザート作り

区分	こぶし		ぶな		しゃくなげ		ききょう		八海山・駒ヶ岳		中ノ岳	
	日	内容	日	内容	日	内容	日	内容	日	内容	日	内容
6月	26	茶話会					24	茶話会			27	お菓子作り
7月	8	茶話会	8	茶話会	8	茶話会	8 27	茶話会 カラオケ	18	誕生会	23	お菓子作り
8月	18	お盆喫茶	18	お盆喫茶	18 27	お盆喫茶 誕生会	18 27	お盆喫茶 誕生会	19	誕生会		
9月	30	誕生会	21 30	誕生会 カラオケ	30	カラオケ	30	誕生会	21 30	ウオロク買物 カラオケ	29	和パフェ作り
10月	21	原信買物			14	誕生会	21	原信買物	25 28	茶話会 広神コスモス 畑見学	19	茶話会
11月	18 22	ドライブ 運動会	14 18 22	誕生会 ドライブ 運動会	18 22	ドライブ 運動会	18 19 22	ドライブ 誕生会 運動会	18	ドライブ	18	ドライブ
12月	25	クリスマス会 大忘年会	25	クリスマス会 大忘年会	25	クリスマス会 大忘年会	9 25	誕生会 クリスマス会 大忘年会	16 23	誕生会 忘年会	18	クリスマス会
1月	4	新年会	4	新年会	4	新年会	4	新年会	20	茶話会	10	茶話会
2月	12	誕生会			27	誕生会			17	誕生会	18	茶話会
3月	25	ひな祭り会	26	誕生会			25	ひな祭り会	17	誕生会	15	ひな祭り会

(3) ケアハウスやまなみ行事

区分	年間行事		ボランティア		クラブ活動		行事食	
	日	内容	日	内容	日	内容	日	内容
4月	3	買物ツアー	2	三味線	10	おやつ作り	12	創立記念弁当
	6	映写会	10	やまなみ喫茶	18	絵手紙倶楽部	26	希望献立
	12	衣料販売	10	傾聴ボランティア	19	書道倶楽部		
	17	買物ツアー	27	昔語り	25	手芸倶楽部		
	18	バスハイク						
	19	バスハイク						
	26	衣料販売						
5月	1	買物ツアー	8	やまなみ喫茶	8	おやつ作り	1	節句料理
	10	衣料販売	14	カラオケサークル	16	絵手紙倶楽部	24	希望献立
	11	映写会	21	舞踊会	18	体操倶楽部		
	15	買物ツアー	25	昔語り	31	書道倶楽部		
	24	衣料販売						
6月	1	買物ツアー	8	やまなみ喫茶	8	おやつ作り	1	節句料理
	10	衣料販売	14	カラオケサークル	16	絵手紙倶楽部	24	希望献立
	11	映写会	21	舞踊会	18	体操倶楽部		
	15	買物ツアー	25	昔語り	31	書道倶楽部		
	24	衣料販売						
7月	1	買物ツアー	8	やまなみ喫茶	8	おやつ作り	1	節句料理
	10	衣料販売	14	カラオケサークル	16	絵手紙倶楽部	24	希望献立
	11	映写会	21	舞踊会	18	体操倶楽部		
	15	買物ツアー	25	昔語り	31	書道倶楽部		
	24	衣料販売						
8月	2	スイカ割り	6	三味線・民謡	14	おやつ作り	9	行事食
	3	映写会	14	やまなみ喫茶	16	書道倶楽部	23	希望献立
	7	買物ツアー	24	昔語り	22	体操教室	28	選択食

区分	年間行事		ボランティア		クラブ活動		行事食	
	日	内容	日	内容	日	内容	日	内容
	21	買物ツアー						
	23	衣料販売						
	30	避難訓練						
9月	4	買物ツアー	10	カラオケの会	11	おやつ作り	20	行事食
	8	秋祭り	11	やまなみ喫茶	19	絵手紙倶楽部手工	27	希望献立
	13	敬老会	28	昔語り	26	芸倶楽部		
	13	衣料販売						
	18	買物ツアー						
	27	衣料販売						
10月	2	買物ツアー	1	三味線・民謡	9	おやつ作り	10	行事食
	5	映写会	9	傾聴ボランティア			25	希望献立
	11	衣料販売	9	やまなみ喫茶				
	16	買物ツアー	26	昔語り				
	22	ミニ運動会						
	23	バスハイク						
	24	衣料販売						
24	バスハイク							
11月	6	買物ツアー	12	カラオケ	14	絵手紙倶楽部	1	収穫祭
	8	衣料販売	13	やまなみ喫茶	28	手工芸倶楽部	15	希望献立
	9	作品展 19日まで	30	昔語り	29	書道倶楽部	29	鍋パーティー
	20	買物ツアー						
	22	衣料販売						
12月	4	買物ツアー	3	三味線	11	おやつ作り	7	忘年会
	13	衣料販売	11	やまなみ喫茶	13	書道倶楽部	20	希望献立
	14	フリーマーケット	28	昔語り	19	絵手紙倶楽部	25	クリスマス会食
	18	買物ツアー			20	体操倶楽部		

区分	年間行事		ボランティア		クラブ活動		行事食	
	日	内容	日	内容	日	内容	日	内容
	27	衣料販売			26	手工芸倶楽部		
1月	4	カルタ大会	22	踊り・民謡	23	大桃体操	1	お正月料理
	8	買物ツアー	25	昔語り	24	書道倶楽部	2	松花弁当
	10	衣料販売					3	お正月料理
	11	映写会					24	希望献立
	22	買物ツアー						
	24	衣料販売						
2月	1	節分豆まき	4	三味線	12	おやつ作り	1	節分行事食
	5	買物ツアー	12	やまなみ喫茶	18	書道倶楽部	7	寿司パーティー
	8	映写会	22	昔語り	20	絵手紙倶楽部	21	希望献立
	19	買物ツアー						
	28	衣料販売						
3月	1	映写会	11	カラオケ	12	おやつ作り	7	雛祭り行事食
	5	買物ツアー	12	やまなみ喫茶	26	書道倶楽部	20	彼岸のおはぎ
	14	衣料販売	28	舞踊			28	希望献立
	19	買物ツアー	29	昔語り				
	27	避難訓練	30	ネイルサロン				
	28	衣料販売						

魚沼市養護老人ホーム南山荘 事業報告

1. 事業計画執行状況

基本方針、平成30年度重点目標及び平成30年度個別事業計画に基づき、各部門において計画を進めてきた。

各部門の目標に対する評価及び今後の課題は次のとおりである。

(1) 支援員

<目標及び評価>

1) 担当職員を中心に入所者への個別の関わりを強化し、ケアの提案を行いよりよい支援につなげる。

⇒担当職員を中心に入所者への個別の関わりとして季節の衣替えや居室の整理等には関わられたが、ケアの提案までは出来ていなかった。

2) 優しさと思いやりのある対応で、日々の関わりを大切にする。

⇒優しさと思いやりのある対応を心がけ、日々関わりを大切にできていた。

3) 状態や様子がわかる記録を残し、情報を共有する。

⇒個々の状態や普段の様子を、重要視した記録を残せていた。

<次年度以降の課題等>

・ 今後は、日々の関わりの中に、もう少し気づきをもち優しさと思いやりのあるよりよい支援につなげ、情報を共有しチーム力及びコミュニケーション力を高めていく必要がある。

(2) 看護

<目標及び評価>

1) 他職種と密に連携を取り、入所者のQOL維持・向上に努める。

⇒他の職種と連携をとり情報共有することで医療が必要な時は早期に対応できた。

2) 医療福祉の知識・技術を高めるよう積極的に自己啓発に努め、入所者の健康の保持・増進を図る。

⇒研修会等自ら積極的に参加した。そこで得た知識を入所者に伝えることで入所者の健康の保持及び増進を図れたと思う。

3) 感染予防と蔓延防止のため、感染症対策の徹底に努める。

⇒委員会で話し合い、その情報を全職員に周知できた。

⇒早期発見と早期対応、多職種連携、前年度の経験を活かし蔓延期間を短縮できた。

<次年度以降の課題等>

・ 今後の課題として、チームワークを発揮するために多職種と常日頃からコミュニケーションをとっていく必要がある。また、自ら積極的に研修会等に参加し自己啓発に努め情報収集、情報提供、情報共有を心がけていく。

(3) 生活相談員

<目標及び評価>

1) 入所者・ご家族からの相談を丁寧に受け止め信頼につながるよう、相談援助技術の向上に努める。

- ⇒入所者及びご家族からの話に耳を傾け、できる限りの相談には務めたが、制度内容等の把握、理解が不足で十分な相談援助とはならなかった。
- 2) 入所者個々の意向を尊重しつつ、集団生活の中で楽しみが持てるよう支援する。
⇒入所者個々の意向を尊重したことにより、自分で行える事柄が増え、張りのある生活が送れるよう支援できた。また、入所者全員で一つの行事に取り組み、達成感を味わえるような支援ができたと思う。
- 3) 職種間の連携を一層進め、施設一体となつてのサービス向上に努める。
⇒行事計画、看取り対応、ひやりはっと対策等その都度施設全体で相談し、少しずつではあるがサービスの向上となつてきていると思う。
- 4) 地域の方と積極的に関わる機会を持ち、協力し合える関係づくりに努める。
⇒地域の方との交流機会は例年通りとなり、協力し合える関係づくりまでには至らなかった。
- 5) 関係機関との連携がスムーズにいくよう、相談業務の向上に努める。
⇒関係機関との連携を密に取るよう心がけていたが連絡や調整は取れても、社会資源、制度、権利擁護等の知識不足で相談業務の向上までには至らなかった。

<次年度以降の課題等>

- ・施設内外の多職種連携の強化に一層努める。
- ・処遇計画を中心にした支援、サービスの質の向上に努めていく。

(4) 栄養・調理員

<目標及び評価>

- 1) 日常の食事は馴染み深さを重視し、行事食は見た目も楽しめるよう変化を持たせ、入所者が笑顔になるような献立作成に取り組む。
⇒日常の食事では煮物や山菜料理など、馴染みのある料理を中心に提供し、行事食ではマンネリ化しないように入所者が目で見えて楽しめるように献立を立ててきた。
- 2) 栄養管理を継続的に行い、他職種間で情報共有し、より入所者が食事に満足できるよう努める。
⇒栄養管理を行うことで入所者自ら血糖値を下げたいと野菜のおかずから食べるようになったり、肥満改善のため進んで体を動かしたり、減塩に努めたりと意識の向上に繋がっていた。
- 3) 献立内容を確認しながら効率よく作業を進める。
⇒献立確認は、まだ入れ忘れがあり課題が残る。作業としては全体を把握し、優先順位を決めて進めた。
- 4) 安全な食事を安心して食べてもらえるよう心掛ける。
⇒衛生面は、マニュアルに沿って徹底した。また、食形態については入所者の声を聴き小さくするなど食べやすい様提供した。

<次年度以降の課題等>

- ・栄養管理のための知識の習得、献立の確認を行っていく。

(5) 総務

<目標及び評価>

- 1) 入所者、ご家族、お客様などに対し、明るく適切な対応を心掛ける。
⇒窓口や電話対応では明るい対応を心がけた。今後はお客様や、入所者のご家族との関係性を把握し、それぞれに適切な対応が出来るよう努めたい。
- 2) 入所者とのコミュニケーションを図る。
⇒できるだけ外出サポートや行事に参加した。一緒に参加することにより、事務所以外でもコミュニケーションをとることができた。
- 3) 他職種と連携し、内外での取り組みを把握しサポートする。
⇒他職種の業務内容を理解しサービスの向上に向けた支援ができた。今後も連携をとりながら求められた支援を行っていきたい。
- 4) 仕事の優先度や処理法を考え、業務の効率化を図る。
⇒他職種から頼まれたことを優先させてしまい、仕事の優先度を考え業務を効率よくこなすには至らなかった。
- 5) 建物・設備の健全な管理に努める。
⇒施設設備や機器の老朽化が進んでおり修繕が多くなっている。予算を考慮し、市と連携を密にし、業務に支障が出ないように管理していく。

<次年度以降の課題等>

- ・ 養護老人ホームの体制や法令を理解し実態に即して運用できるようスキルアップに努める。また、計画性を持った事務の遂行を心がける。

これらの反省点や課題を解消しながら、計画に反映し、サービスの質の向上を目指し事業を推進していく。

2. 施設が管理する事業

種別		指定番号	有効期限	事業開始日
養護老人ホーム	定員 50 名	—	—	S44. 6. 1
生活管理指導短期宿泊事業	定員 4 名	—	—	H5. 12. 2

3. 利用状況

ア 要介護度別・年齢別・男女別入所者数 (H31. 3. 31 現在)

区分		なし	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	計	
～64 歳	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	0	0	0	0	0	0	0	0	
65～69 歳	男	1	0	0	1	0	0	0	2	3
	女	1	0	0	0	0	0	0	1	
70～79 歳	男	7	0	0	1	1	0	0	9	11
	女	2	0	0	0	0	0	0	2	
80～89 歳	男	3	0	0	0	1	1	0	5	23
	女	11	0	1	1	3	1	1	18	
90～99 歳	男	0	0	0	1	0	0	0	1	12
	女	6	0	0	2	2	0	1	11	
100 歳～	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	0	0	0	0	0	0	0	0	
計	男	11	0	0	3	2	1	0	17	49
	女	20	0	1	3	5	1	2	32	
	計	31	0	1	6	7	2	2	49	

要支援…1名 要介護者…17名

平均要介護度…男性 1.7/女性 2.2/全体度 2.0

平均入所期間…4年7ヶ月 平均年齢…男性 76.6歳/女性 87.6歳/全体 83.8歳

最高年齢…男性 91歳/女性 99歳 最低年齢…男性 68歳/女性 67歳

待機者数… 0名

イ 入所者利用状況

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
男	16	16	16	16	16	16	17	17	18	18	17	17	200
女	34	34	33	32	32	32	31	30	30	31	32	32	383
計	50	50	49	48	48	48	48	47	48	49	49	49	583

ウ 入所者利用日数（外泊・退所含む）

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
男	16	16	16	16	16	16	17	17	18	18	18	17	201
女	34	34	34	33	32	32	32	31	30	31	32	32	387
計	50	50	50	49	48	48	49	48	48	49	50	49	588

エ 入所者延べ数

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
男	480	496	480	496	496	480	523	510	556	558	478	527	6,080
女	979	1,054	998	998	992	960	986	913	930	933	885	992	11,620
計	1,459	1,550	1,478	1,494	1,488	1,440	1,509	1,423	1,486	1,491	1,363	1,519	17,700

稼働率 97.0%

オ 短期宿泊事業利用者数

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
男	2	0	0	0	0	0	1	2	0	0	0	0	5
女	0	1	1	1	2	0	0	1	0	0	2	3	11
計	2	1	1	1	2	0	1	3	0	0	2	3	16

※4月男性2人中1人は市外（川越市）高齢者一時受け入れ

カ 短期宿泊事業利用者延べ数

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
男	6	0	0	0	0	0	6	18	0	0	0	0	30
女	0	7	4	11	14	0	0	7	0	0	5	13	61
計	6	7	4	11	14	0	6	25	0	0	5	13	91

※4月利用6日中2日は市外高齢者一時受け入れ

キ 入退所

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
入所 男	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	2
入所 女	2	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	4
退所 男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
退所 女	0	0	1	1	0	0	1	1	0	0	0	0	4
入所 6名	内訳…在宅5名 老人ホーム1名												
退所 5名	内訳…病院1名 特養2名 死亡2名												

ク ひやりはっと件数

内容	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
転倒	1	7	5	1	6	4	3	1	14	10	2	5	59
転落	0	0	0	1	2	1	4	0	1	2	0	1	12
外傷	2	1	0	0	0	3	0	0	1	2	1	3	13
誤嚥誤飲	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	2
異食	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
離設	1	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	3
紛失破損	2	0	0	0	0	0	0	1	2	2	1	1	9
熱傷	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
与薬	1	1	1	0	1	0	0	0	3	4	2	1	14
その他	2	1	3	1	0	2	0	2	1	0	0	0	12
計	9	11	9	3	9	10	8	5	22	21	7	11	125

ケ 面会件数

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
面会数	30	45	53	29	43	30	76	57	56	24	26	44	513

コ 苦情・意見及び要望受付件数
なし

4. 会議・研修・行事状況

別紙のとおり

5. 施設・設備整備状況

(1) 建物、設備、備品の点検・修理

- ・給湯室出口手摺塗装替え工事
- ・1階給湯室、脱衣場、食堂網戸取付
- ・建物南側雨樋修理
- ・208号室畳表替
- ・2階給湯室、1階男子トイレ換気扇修理
- ・機械室温泉給湯管ストレーナー補修
- ・1階廊下、玄関、カウンター前、談話室、105号室、1階女子トイレLED照明修理
- ・乾燥室FF暖房機修理
- ・ガスレンジ用コック交換修理
- ・給湯ボイラー保守点検
- ・貯湯槽タンク設備保守点検
- ・エレベーター点検
- ・貯水槽清掃及び水質検査
- ・地下タンク漏洩検査
- ・事務室、食堂ビルトインエアコン清掃
- ・壁掛けエアコン清掃（7台）
- ・立体炊飯器LGS100S部品交換修理
- ・パソコンメインボード、キーボード交換2台修理

(2) 車両関係点検・修理

- ・タイヤショベル（除雪機）オイル漏れ修繕
- ・タイヤショベルチェーン
- ・VOXY車検

(3) 備品の購入

- ・パナソニックDVDレコーダー
- ・エプソン プロジェクタ
- ・BUFFALO外付けHDD
- ・BUFFALOネットワークHDD
- ・事務所廊下LED照明器具増設

(4) リース開始物件

- ・食洗器再リース

別紙

1. 調査報告

調査報告日	調査報告件名	提出先
H30. 4. 20	養護老人ホームの被措置者数の確認について	全国老人福祉施設協議会
H30. 6. 26	人生の最終段階における医療に関する意識調査について	厚生労働省医政局地域医療計画課
H30. 9. 21	養護老人ホームにおける“生活ルール”と生活支援に関する研究アンケート調査	東海大学健康学部健康マネジメント学科
H30. 10. 2	養護老人ホームの施設状況について	新潟県老人福祉施設協議会
H30. 10. 5	高齢者福祉施設等の耐震対策及び安全点検状況のフォローアップ調査について	新潟県福祉保健部高齢福祉保健課
H30. 10. 19	平成 30 年社会福祉施設等・保護施設・老人福祉施設等調査	厚生労働省
H30. 10. 22	全国老人ホーム基礎調査	全国老人福祉施設協議会
H30. 10. 1	平成 30 年住宅・土地統計調査	総務省統計局
H30. 12. 18	医療保健関係資格者の届出	新潟県魚沼地域振興局健康福祉部
H31. 1. 29	平成 30 年度給食実施状況報告	新潟県魚沼保健所
H31. 2. 1	養護老人ホーム及び軽費老人ホームの新たな役割の効果的な推進方策に関するアンケート調査	厚生労働省老健局高齢者支援課
H31. 2. 19	養護老人ホームの消費税対応調査	新潟県老人福祉施設協議会

2. 出張研修一覧

出張日	件名	参加数
H30. 4. 25	危険物取扱者乙種第四類講習	1
H30. 6. 16	新潟県栄養士会 非常時の食事提供	1
H30. 6. 20	福祉関係者のための成年後見活用講座	2
H30. 5. 29～ 30	精神保健福祉業務新任者研修会	1

出張日	件名	参加数
H30. 6. 5 H30. 6. 19	社会福祉施設職員接遇研修	2
H30. 6. 16	身寄りが無いなど生活に困難を抱える方への支援～司法との設定から考える	2
H30. 7. 6	平成 30 年度第 1 回魚沼市小出病院地域連絡会	1
H30. 7. 11	魚沼圏域障害者地域生活支援連絡調整会議	2
H30. 7. 28	魚沼地域高齢者施設虐待防止研修会	2
H30. 7. 30	学校及び社会福祉施設の行事に伴う食品提供に係る食品衛生講習会	1
H30. 7. 31	高齢者・障害者虐待防止・対策研修	1
H30. 8. 7	コミュニケーションスキルアップ研修	1
H30. 8. 10	新潟県経営協セミナー（前期）	1
H30. 8. 21	記録の書き方研修	2
H30. 9. 6	気づく力研修	2
H30. 9. 7	アクティビティ・ケア研修	1
H30. 9. 14	看取りケア研修会実施計画	1
H30. 9. 25	魚沼圏域健口づくり支援事業「食べるを支える」関係者研修会	1
H30. 9. 26～ 27	新潟県老人福祉施設研究大会	1
H30. 10. 10	新潟県福祉サービス第三者評価事業者説明会	2
H30. 11. 13	魚沼地域高齢者施設虐待防止研修会①	3
H30. 12. 2	新潟県看護協会看護学会研修	1
H31. 1. 23	魚沼圏域障害者地域生活支援連絡調整会議	2
H31. 2. 25～ 26	高齢者福祉施設の生活相談員の固有性の発揮と我が事・丸ごとの地域づくり	1

出張日	件名	参加数
H31. 3. 7	ビジネスコミュニケーション&マナー向上セミナー	2
H31. 3. 28	平成 30 年度 管理者研修会	1

3. 年間会議/委員会等実施報告書

(1) 会議/委員会実施状況

区分	南山荘					うおの園 (合同)		市		
	日	会議	日	委員会	日	研修会	日	会議/委員会	日	会議/委員会
4月	11	職員会議	2	研修委員会					5	入所調整会議
	12	支援員会議	3	安全対策委員会						
	23	処遇会議	10	苦情処理委員会						
	25	処遇会議								
5月	9	職員会議	2	安全対策委員会	21	公用車取扱い研修	25 く	安全対策研修会		
	9	DS連絡会議	25	感染対策委員会	29	〃				
	24	支援員会議	25	虐待防止委員会	29	救急の基礎知識講習 (研修医)				
	28	処遇会議	22	広報委員会	25	防火避難訓練				
	31	処遇会議								
6月	13	職員会議	13	厨房会議		21 く	感染対策委員会	14 20	入所調整会議 魚沼市地域々々推進会議 (入所判定部会)	
	15	支援員会議								
	20	処遇会議								
	25	処遇会議								
7月	11	職員会議	9	安全対策委員会	11	虐待防止指針及び マニュアルの周知 看取り講習会 (上村先生)				
	26	支援員会議	11	厨房会議						
	25	処遇会議	17	研修委員会	24					
	26	処遇会議	13	広報委員会						
8月	8	職員会議	10	感染対策委員会	20	防火避難訓練	20 23 29	虐待防止委員会 研修会		
	9	支援員会議	10	虐待防止委員会						
	20	処遇会議	21	厨房会議						
	24	処遇会議	23	安全対策委員会						
9月	12	支援員会議	10	広報委員会	20	虐待防止伝達研修		4 19	入所調整会議 魚沼市地域々々推進会議 (入所判定部会)	
	12	職員会議	12	給食会議	20	不適切ケア研修会				
	21	処遇会議			25	車々の階段昇降演習				

区分	南山荘					うおの園（合同）		市		
	日	会議	日	委員会	日	研修会	日	会議/委員会	日	会議/委員会
	26	処遇会議			25	夜間想定避難訓練				
10月	10	職員会議	10	研修委員会 安全対策委員会	11 ～ 31	手洗い演習				
	10	支援員会議								
	22	処遇会議								
	25	処遇会議								
11月	14	職員会議	15	感染対策委員会 虐待防止委員会 厨房会議	1 26	入所者手洗い演習 高齢者の栄養と嚥下 の仕組み研修			14	入所調整会議
	14	支援員会議								
	28	処遇会議								
	29	処遇会議								
12月	12	職員会議			17・ 18・27 4・5・8 27	虐待・身体拘束に ついての基礎知識 吐物処理演習 インフルエンザ・MRSAの 研修会（研修医）	18 20	身体にかかる圧の 影響と対策	17 19	入所調整会議 魚沼市地域々推進会議 （入所判定部会）
	13	支援員会議								
	21	処遇会議								
	26	処遇会議								
1月	9	職員会議	7・8 11・15 17 15 11 23	感染対策委員会 " 研修委員会 安全対策委員会 広報委員会 厨房会議					18	入所調整会議
	11	支援員会議								
	21	処遇会議								
	24	処遇会議								
2月	13	職員会議	6	感染対策委員会	27	防火避難訓練	15 ～	ユニットケア研修		
			6	虐待防止委員会						
			13	給食会議						
			14	広報委員会						
			20	厨房会議						

区分	南山荘					うおの園（合同）		市		
	日	会議	日	委員会	日	研修会	日	会議/委員会	日	会議/委員会
3月	13	職員会議	26	苦情処理委員会			18	30年度活動報告 (南山荘)	20	魚沼市地域が推進会議 (入所判定部会)
	12	支援員会議								
	27	処遇会議								
	28	処遇会議								

4. 年間行事等実施計画書

(1) 全体行事

区分	年間行事		ボランティア		クラブ活動		行事食	
	日	内容	日	内容	日	内容	日	内容
4月	2	散髪	20	傾聴ボランティア	6	カラオケクラブ	12	誕生者希望献立
	17	どら焼き作り			16	習字クラブ	27	バイキング
	19	外出サポート			28	民謡クラブ		
	24	春のお茶会						
	26	外出サポート						
5月	1	常会	18	傾聴ボランティア	19	民謡クラブ	8	春の和会席
	2	屋外食			22	習字クラブ	20	誕生者希望献立
	7	外出サポート			23	カラオケクラブ		
	7	散髪						
	10	バス旅行						
	16	ちまき作り						
	25	防災訓練						
30	春のお茶会							
6月	1	常会	15	傾聴ボランティア	8	カラオケクラブ	5	さなぶりごっつお
	4	散髪			16	民謡クラブ	15	バイキング
	6	運動会			25	習字クラブ	18	誕生者希望献立

区分	年間行事		ボランティア		クラブ活動		行事食	
	日	内容	日	内容	日	内容	日	内容
	11	フルーツポンチ作り						
	21	外出サポート						
	26	外出サポート						
	29	常会 (7月)						
7月	2	散髪	25	湯之谷中福祉ボランティア	13	カラオケクラブ	5	誕生者希望献立
	4	外出サポート	21	これおせんべいず	24	習字クラブ	6	七夕バイキング
	17	10円マーケット	21	アイアロハ	28	民謡クラブ		
	21	納涼大会						
8月	1	常会			22	カラオケクラブ	9	バイキング
	3	夏のお茶会			28	習字クラブ	13	お盆料理
	6	散髪					21	誕生会希望献立
	7	外出サポート						
	9	お盆供養						
	20	防災訓練						
	26	小出祭花火観覧						
	26	折立御神輿						
	27	クッキー作り						
	29	外出サポート						
31	常会							
9月	3	散髪	14	魚沼マジック・ラブ	15	民謡クラブ	14	敬老祝い御膳
	5	月見団子作り	22	月明かりの会 (踊り)	19	カラオケクラブ	20	おはぎバイキング
	14	敬老お楽しみ会			25	習字クラブ	26	誕生会希望献立
	25	夜間避難訓練						
	27	外出サポート						
	28	入所者健康診断						

区分	年間行事		ボランティア		クラブ活動		行事食		
	日	内容	日	内容	日	内容	日	内容	
10月	2	散髪	18・19	湯之谷中福祉ボランティア	20	民謡クラブ	11	バイキング	
	2	常会			24	カラオケクラブ	23	災害食訓練	
	3	妻有荘交流会			27	習字クラブ			
	12	衣類販売							
	15	外出サポート							
	29	ホットケーキ・茸汁作							
11月	1	常会	18	ハトの会	3・4	湯之谷地区文化祭	7	収穫祭献立	
	5	散髪	20	かをる会		27	習字クラブ	16	バイキング
	20	合唱祭				28	カラオケクラブ	22	誕生会希望献立
	30	すいとん作り							
	30	常会 (12月)							
12月	3	散髪			7	習字クラブ	6	誕生会希望献立	
	18	忘年会			15	民謡クラブ	14	おでんバイキング	
	21	ゆず湯			19	カラオケクラブ			
	25	クリスマス会							
	28	常会 (1月)							
	31	昆布巻き作り							
1月	7	散髪	25	出張そば打ち	15	習字クラブ	1~3	おせち料理	
	28	お汁粉作り			29	カラオケクラブ	14	小正月料理	
2月							23	誕生会希望献立	
	1	常会			11	カラオケクラブ	12	誕生会希望献立	
	1	節分まめまき			16	民謡クラブ	15	バイキング	
	4	散髪			26	習字クラブ			
	15	100歳長寿祝							
21	肉まんあんまん作り								

区分	年間行事		ボランティア		クラブ活動		行事食	
	日	内容	日	内容	日	内容	日	内容
	27 22	避難訓練 ～28 作品展						
3 月	1 4 6 13 18 29 29	常会 散髪 いきいき体操教室 交流ゲートボール大会 スイートポテト作り むつみ会総会 入所者健康診断	11	渋谷様三味線ボランティア	16 20 26	民謡クラブ カラオケクラブ 習字クラブ	4 8 14 20	ひな祭り献立 バイキング 誕生会希望献立 彼岸のぼたもち

参考資料
年間推移
職員数

区分	平成 16 年 度末	平成 20 年 度末	平成 23 年 度末	平成 27 年 度末	平成 30 年 度末
施設長	1	1	1	2	2
生活相談員	2	3	3	6	6
機能訓練指導員	1	2	2	2	2
機能訓練パート	0	0	1	1	1
栄養士	1	2	2	3	3
看護職員	5	6	5	6	6
看護パート	1	0	2	2	3
介護職員	29	43	43	50	57
介護パート	5	0	18	17	13
事務員	2	3	5	3	3
事務パート	0	0	0	1	2
管理運転	2	3	3	3	3
管理運転パート	0	0	0	2	2
調理員	0	0	0	4	5
調理パート	0	0	0	2	1
出向	1	3	6	11	3
学生	0	9	5	0	0
計	50	75	96	115	112

※平成 20 年 4 月 ケアハウスやまなみ開設
平成 26 年 4 月 魚沼市養護老人ホーム南山荘指定管理受託

特別養護老人ホームうおの園
介護老人福祉施設
ア 要介護度別入居者数

区分	平成 16 年 度末	平成 20 年 度末	平成 23 年 度末	平成 27 年 度末	平成 30 年 度末
要介護度 1	8	0	1	0	0
要介護度 2	9	9	4	7	1
要介護度 3	11	10	7	6	7
要介護度 4	17	10	12	24	18
要介護度 5	28	42	45	32	41
計	73	69	69	69	67
平均介護度	3.6	4.2	4.3	4.1	4.4
平均在園期間	9 ヶ月	3 年 2 ヶ月	3 年 9 ヶ月	3 年 4 ヶ月	3 年 0 ヶ月

※平成 16 年新潟県中越大震災のため定員超過で受け入れ

イ 要介護度別入居者延べ数

区分	平成 16 年 度	平成 20 年 度	平成 23 年 度	平成 27 年 度	平成 30 年 度
要介護度 1	3,144	459	122	74	0
要介護度 2	3,166	2,540	1,959	2,471	518
要介護度 3	4,626	2,700	1,974	3,045	3,036
要介護度 4	5,019	4,676	4,143	7,576	7,812
要介護度 5	8,607	14,328	16,885	11,691	13,137
計	24,562	24,703	25,083	24,857	24,503
稼動率	96.1%	96.6%	97.9%	99.2%	98.2%

ウ 性別入居者数

区分	平成 16 年 度末	平成 20 年 度末	平成 23 年 度末	平成 27 年 度末	平成 30 年 度末
男	19	13	13	8	8
女	54	56	56	61	59
計	73	69	69	69	67

エ 平均年齢

区分	平成 16 年 度末	平成 20 年 度末	平成 23 年 度末	平成 27 年 度末	平成 30 年 度末
男	78.7	76.5	79.2	84.5	88.5
女	83.5	87.5	87.5	88.9	90.4
平均年齢	82.2	85.5	85.9	88.4	90.2

オ 入居者地区別内訳

地区名	平成 16 年 度末	平成 20 年 度末	平成 23 年 度末	平成 27 年 度末	平成 30 年 度末
川口	4	5	5	4	5
堀之内	16	14	12	13	18
小出	23	24	18	28	27
湯之谷	7	6	13	15	12
広神	12	10	11	3	3
守門	6	6	7	2	1
入広瀬	4	4	3	4	1
大和	1	0	0	0	0
計	73	69	69	69	67

カ 入退居数推移

区分	平成 16 年 度	平成 20 年 度	平成 23 年 度	平成 27 年 度	平成 30 年 度
入居	86	13	16	21	21
退居	16	13	16	22	24

キ 入居先経緯

区分	平成 16 年 度	平成 20 年 度	平成 23 年 度	平成 27 年 度	平成 30 年 度
在宅	1	0	0	0	6
病院	7	1	0	0	7
老人保健施設	0	0	0	0	6
グループホーム	0	0	0	0	0
その他	8	12	16	22	2
計	16	13	16	22	21

ク 退居先等

区分	平成 16 年 度	平成 20 年 度	平成 23 年 度	平成 27 年 度	平成 30 年 度
在宅	1	0	0	0	0
病院	7	1	0	0	1
老人ホーム	0	0	0	0	0
老人保健施設	0	0	0	0	0
グループホーム	0	0	0	0	0
死亡	8	12	16	22	23
計	16	13	16	22	24

ケ 入居待機者数

区分	平成 16 年度 末	平成 20 年度 末	平成 23 年度 末	平成 27 年度 末	平成 30 年度 末
待機者数	0	198	283	130	128

(予防介護) 短期入所生活介護

ア 要支援・要介護度別利用者数

区分	平成 16 年度	平成 20 年度	平成 23 年度	平成 27 年度	平成 30 年度
要支援 1	1	2	1	5	8
要支援 2		20	4	3	0
要介護度 1	69	94	82	54	103
要介護度 2	79	139	219	255	215
要介護度 3	89	151	135	147	165
要介護度 4	108	153	201	140	166
要介護度 5	150	169	148	78	116
計	496	728	790	682	773
平均要介護度	3.3	3.4	3.1	2.8	3.0

※平成 18 年より要支援から要支援 1・2 へ介護区分が変更になりました。

イ 要介護度別利用者延べ数

区分	平成 16 年度	平成 20 年度	平成 23 年度	平成 27 年度	平成 30 年度
要支援 1	12	0	3	14	28
要支援 2		14	16	24	0
要介護度 1	487	145	531	428	576
要介護度 2	532	790	1,306	1,720	1,420
要介護度 3	877	1,373	777	1,034	1,176
要介護度 4	813	869	2,002	1,444	1,145
要介護度 5	1,262	1,892	1,189	770	988
計	3,983	5,083	5,824	5,434	5,333
稼働率	68.2%	87.0%	99.4%	93.1%	91.3%

ケアハウス やまなみ

ア 要介護度別入居者数

区分	平成 20 年度末	平成 23 年度末	平成 27 年度末	平成 30 年度末
要支援 1	1	1	2	5
要支援 2	5	3	3	4
要介護度 1	5	5	10	10
要介護度 2	4	6	5	5
要介護度 3	1	1	1	0
特定計	16	16	21	24
一般	14	13	9	5
計	30	29	30	29
平均要介護度	1.1	1.3	1.2	1.2
平均在園期間	8 ヶ月	2 年 7 ヶ月	3 年 9 ヶ月	4 年 6 ヶ月

イ 契約種別入居者延べ数

区分	平成 20 年度	平成 23 年度	平成 27 年度	平成 29 年度
特定	4,413	5,522	7,623	8,598
一般	4,557	5,343	3,254	2,275
計	8,970	10,865	10,877	10,873
稼働率	81.9%	98.9%	99.1%	99.3%

ウ 要介護度別入居者延べ数

区分	平成 20 年度	平成 23 年度	平成 27 年度	平成 30 年度
要支援 1	508	150	855	2,027
要支援 2	1,466	1,403	1,027	1,587
要介護度 1	925	2,108	2,644	3,141
要介護度 2	1,188	1,556	2,417	1,182
要介護度 3	326	305	441	322
要介護度 4	0	0	0	56
計	4,413	5,522	7,384	8,315

エ 性別入居者数

区分	平成 20 年 度末	平成 23 年 度末	平成 27 年 度末	平成 30 年 度末
男	6	6	8	7
女	24	21	22	22
計	30	30	30	29

オ 平均年齢

区分	平成 20 年 度末	平成 23 年 度末	平成 27 年 度末	平成 30 年 度末
男	78.5	80.7	83.3	85.4
女	84.7	83.8	86.3	88.9
平均年齢	83.5	82.2	85.5	88.1

カ 入居者地区別内訳

地区名	平成 20 年 度末	平成 23 年 度末	平成 27 年 度末	平成 30 年 度末
堀之内	4	3	6	4
小出	5	2	5	6
湯之谷	2	5	6	8
広神	5	2	4	4
守門	3	3	2	2
入広瀬	0	1	0	0
大和	2	3	2	0
六日町	3	3	2	3
塩沢	2	1	1	0
湯沢町	2	2	0	0
その他	1	2	1	1
県外	1	2	1	1
計	30	29	30	29

キ 入退居数推移

区分	平成 20 年度	平成 23 年度	平成 27 年度	平成 30 年度
入居	35	6	8	4
退居	5	5	8	4

ク 入居先経緯

区分	平成 20 年度	平成 23 年度	平成 27 年度	平成 30 年度
在宅	32	6	8	2
地域密着型特定施設	0	0	0	1
高齢者支援ハウス	0	0	0	1
ケアハウス	3	0	0	0
その他	0	0	0	0
計	35	6	8	4

ケ 退居先等

区分	平成 20 年度	平成 23 年度	平成 27 年度	平成 30 年度
在宅	1	1	1	0
病院	1	1	2	0
老人ホーム	2	1	0	0
老人保健施設	0	3	3	1
グループホーム	0	1	1	1
介護付き 有料老人ホーム	0	0	0	1
サービス付き 高齢者住宅	0	0	0	1
死亡	1	0	1	0
計	5	7	8	4

魚沼市養護老人ホーム南山荘

ア 要介護度別入所者数

区分	平成 26 年 度末	平成 27 年 度末	平成 28 年 度末	平成 29 年 度末	平成 30 年 度末
なし	40	37	34	33	31
要支援 1	1	1	1	1	0
要支援 2	0	0	1	0	1
要介護度 1	3	3	1	2	6
要介護度 2	3	6	8	10	7
要介護度 3	2	2	3	0	2
要介護度 4	0	0	0	2	2
要介護度 5	0	1	0	0	0
計	49	50	48	48	49
平均要介護度	1.9	2.2	2.2	2.1	2.0

イ 入所者延べ数

区分	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
男	5,168	5,616	5,256	5,772	6,080
女	12,402	12,393	11,811	11,675	11,620
計	17,570	18,009	17,067	17,447	17,700

ウ 性別入所者数

区分	平成 26 年 度末	平成 27 年 度末	平成 28 年 度末	平成 29 年 度末	平成 30 年 度末
男	16	16	16	16	17
女	33	34	32	32	32
計	49	50	48	48	49

エ 平均年齢

区分	平成 26 年 度末	平成 27 年 度末	平成 28 年 度末	平成 29 年 度末	平成 30 年 度末
男	75.9	77.3	75.6	76.5	76.6
女	85.4	86.3	86.3	86.4	87.6
計	82.3	83.4	82.7	83.1	83.8

オ 入所者地区別内訳

区分	平成 26 年 度末	平成 27 年 度末	平成 28 年 度末	平成 29 年 度末	平成 30 年 度末
川口	2	2	2	1	1
堀之内	4	4	4	1	2
小出	7	7	8	13	13
湯之谷	9	10	9	9	8
広神	12	12	12	12	12
守門	8	7	7	8	10
入広瀬	7	8	6	4	3
計	49	50	48	48	49

カ 入退所数

区分	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
入所	7	5	7	9	6
退所	7	4	9	9	5

キ 入所前

区分	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
在宅	6	4	3	6	5
病院	0	0	1	2	0
施設	1	1	0	1	0

サ高住	0	0	1	0	1
障害者訓練施設	0	0	2	0	0
計	7	5	7	9	6

ク 退所先

区分	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
病院	1	1	5	1	1
特養	2	2	1	4	2
老人保健施設	1	0	1	0	0
グループホーム	0	0	0	0	0
死亡	3	1	2	4	2
計	7	4	9	9	5

ケ ひやりはっと件数

区分	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
転倒	14	67	55	88	59
転落			17	13	12
外傷	0	0	1	11	13
誤嚥	0	0	2	2	2
異食	0	0	2	1	0
離設	1	0	1	6	3
紛失破損	0	0	2	3	9
熱傷	0	0	1	0	1
与薬	1	5	4	18	14
その他	5	9	2	4	12
計	21	81	87	146	125

コ 生活管理指導短期宿泊事業

区分	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
利用者数	32	16	15	8	16
利用者延べ数	133	64	82	41	91